

第六十四回帝國議會
衆議院

造幣局工場及其ノ附屬設備ノ新營費ニ關スル法律案外二件委員會會議錄(速記)第二十回

會議

昭和八年三月十三日(月曜日)午後一時二十八分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 金光 庸夫君

理事永田善三郎君 理事中川 觀秀君

木暮武太夫君 兼田 秀雄君

壽原英太郎君 杉本國太郎君

小谷 節夫君 丹下茂十郎君

森田 福市君 大山斐瑩磨君

田中喜代松君 前田房之助君

中島彌園次君 小川郷太郎君

勝 正憲君 手代木隆吉君

野中 徹也君

同日委員野中徹也君辭任ニ付其ノ補闕トシ

テ中川觀秀君ヲ議長ニ於テ選定セリ

同日委員鈴木正吾君辭任ニ付其ノ補闕トシ

テ野中徹也君ヲ議長ニ於テ選定セリ

同日理事野中徹也君委員辭任ニ付其ノ補闕

トシテ中川觀秀君理事ニ當選セリ

出席政府委員左ノ如シ

朝鮮總督府政務總監 今井田清德君

北海道廳長官 佐上 信一君

大藏省主稅局長 中島 鐵平君

農林省農務局長 長瀬 貞一君

農林省山林局長 木島 駒藏君

農林省畜產局長 村上龍太郎君

拓務省殖產局長 北島謙次郎君

委員長ノ許可ヲ得テ出席シタル者左ノ如シ

大藏技師 栗山 政雄君

朝鮮總督府技師 伊藤重次郎君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

關稅定率法中改正法律案(政府提出)

昭和七年法律第四號中改正法律案(輸入

稅ノ從量稅率ニ關スル件)(政府提出)

○金光委員長 是ヨリ開會致シマス、關稅

定率法中改正法律案、昭和七年法律第四號

中改正法律案ヲ議題ニ供シマス、前會ニ引

續キ質問ヲ許シマス

○森田委員 拓務當局ニ御願致シマス、南

洋材ト北海道材トノ採算關係ノ比較表ヲ一

ツ急速ニ拓務省側ノ御調ベニナツテ居ルモ

ノヲ御提出ヲ願ヒマス

○丹下委員 過日本員ヨリ當局ニ説明ヲ求

メマシタ高梁、玉蜀黍、養雞飼料ニ使用ス

ルモノニ付テ「カーボン・ブラック」ノ作業

ヲ行ツテ居ルコトニ付テ、一昨日村上畜產

局長ヨリ農林省ノ御考ニ付テノ御説明ガア

リマシタガ、是ハ其前ニ私中上ゲタ通り經

過ニ付テノ御話デ、ソレハ疾ニ分ツテ居ル、

唯私ガ御尋シタノハ「カーボン・ブラック」

ト云フ、ア、云フ非文明、非衛生的ノ作業

ヲ何故ヤラナケレバナラヌカ、一體農林當

局ハアノ作業ト云フモノニ付テドウ云フ風

ニ見テ居ルカ、實際見タコトガアルカ、其

「カーボン・ブラック」ノ作業ガ、養雞ニ及

ボス影響等ニ付テドウ云フ考ヲ持ツテ居ル

カ、又特ニ養雞飼料トシテ免稅セラレルモ

ノヲ、現在養雞組合中央會並ニ全國購買組

合聯合會等、此二團體ヲ取扱者ト指定シテ

ヤラシテ居ル以上ハ、ソレニ對シテ一體何

故ソレダケノ取締ガ出來ナイカ、又ソレヲ

付託議案(審査終了ノモノヲ除ク)

地租ノ免除ニ關スル法律案(安達謙藏君外一

名提出)

間接國稅犯則者處分法中改正法律案(安達謙

藏君外一名提出)

關稅定率法中改正法律案(政府提出)

昭和七年法律第四號中改正法律案(輸入稅ノ

從量稅率ニ關スル件)(政府提出)

大藏當局ニ信賴サセルダケノコトガ農林省

ニハ出來ナイカト云フ意味ニ付テノ御尋ヲ

致シテ置イタノデアリマスガ、此間ノ御說

明ハ、唯一通り經過ヲ御報告セラレタマケ

デ、私ノ御尋シタ事ニ一寸のガ外レテ居

ル、其點ニ付テ簡單ニモウ一度農林當局ノ

所見ヲ伺ツテ置キタイト斯様ニ思フノデア

リマス

○村上政府委員 「カーボン・ブラック」ヲヤ

ルコトニ付キマシテハ、經費ノ關係又使用

上ノ關係等カラ、是ガ最善ノ方法デアルト

ハ私達モ考ヘテ居ル譯デハナイノデアリマ

ス、デアリマスカラシテ、此間申上ゲマシ

タヤウニ、マダ色々ノ方法ニ付テ實驗ヲ致

シテ居ルノデアリマス、ソレデ養雞ノ立場

カラ申シマスルナラバ、出來ルダケ簡單ニ

ヤツテ參ルヤウニト云フ趣旨ニ付テハ、モ

ウ其通り考ヘテ居ル、宜キガ上ニモ宜キヤ

ウニ進ムヤウニ致シタイト考ヘテ居リマス

○丹下委員 現在行ツテ居ル「カーボン・ブ

ラック」ノモノガ最善ノモノデハナイト言ハ

レルガ、私共ハ最善ドコロデハナイ、是程最悪ナモノハナイト考ヘテ居ルノデアリマス、唯取扱ヲ農林當局ガ責任ヲ負ウテ、而シテ大藏省ト交渉シテ、現在ノ二團體ガ扱ッテ居ルコトガ、若シ其間ニ取扱上ノ不備缺點等ガアルナラバ、ソレヲ改善シテ、此二團體ヲ經由スルモノニ對シテハ、ハッキリ

ト此監督ガ出來ナイトハ私ハ考ヘナイ、唯稅關ノ方デハ其取扱ニ付テ、果シテソレガ養鷄飼料ニ使用セラレルモノデアルヤ否ヤト云フコトハ、判別ガ付カナイト云フコトヲ非常ニ考慮サレテ居ル、ソレハ私共ハ左様ニ蚤取り眼デ見ナクトモ、此有力ナ團體ヲ相當ニ指導監督シテ行ケバ、左程心配シ

ナイデモ宜イデヤナイカト思フ、「カーボン・ブラック」ノ作業ヲヤメルト云フコトヲ前提ニシテ、ドウシタラ宜シイカト云フコトヲ御考ヘテ御願ヒタイ、其點ニ付テノ私ハ御意見ヲ政府ニ求メテ居ル、現在デハ何カサウ云フコトヲシテ、所謂最悪ノ方法デモヤラナケレバ、ドウシテモ是ガ取締ハ付カヌト云フコトデアルガ、私ハ左様ニ考ヘ

ヌ、又大藏省ニ向ッテ農林省ガソレダケノコトガ主張シ得ヌト云フコトハ、農林省ノ力ガ弱イノデヤナイカト云フコトモ考ヘルノデアリマスカラ、今一步踏込シテ、此養

鷄業ノ發達ノ爲ニ、農林省ハソレコソ最善ノ方法ヲ講ジテ戴キタイ、是等ノコトヲ特ニ申上ゲテ置キマス、尙ホ研究スル、或ハ調査スル、獨逸ノ何ヤラヲ研究スルト云フ廻リ諄イコトヲ止メテ、斯ウ云フコトヲ一ツ早く解決シテ戴キタイ、是ダケノコトヲ申上ゲテ置キマス

○金光委員長 此際御諮リスルコトガアリマス、理事野中徹也君ガ辭任サレマシタノデ、補關選舉ノ必要ガアリマスガ、先例ニ依リマシテ委員長ヨリ指名致スコトニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○金光委員長 御異議ガナケレバ指名致シマス、中川觀秀君ニ御願致シマス

○永田委員 今ノ一寸關聯シテ質問致シタイト思ヒマス、此間質問ガ尻切蜻蛉ニナツテ居リマシタ爲ニ、皆様ノ御質問ト重複スル點ガアルカモ知レマセヌガ、今「カーボン」ノ御話ヲ伺ヒマシタガ、丹下君ノ仰シヤル通りト思ヒマス、此高粱、玉蜀黍ニ關稅ヲ課ケタト云フコトニ引續イテ、先般私ガ長瀬君ニ御尋シタ點デアリマスガ「カーボン」ノ方ハサウ云フ風ニシテ、一ツ最善ノ方法ヲ講ジテ戴ク、アレハ全ク最悪デ、卵ヲ作ル連中ハ非常ニ困ッテ居ル、農村ノ副

業ノ助長ドコロデハナイ、抑ヘルヤウナコトニナツテシマッテ、一向役ニ立タナイ、ソレト云フノガ高粱、玉蜀黍バカリヤッテ居ルカラ片手落ちニナツテ居ル、澱粉、或ハ飴ト云フヤウナモノヲ保護シヨウト云フ農林省ノ考ナラバ、モウ少シ手ヲ擴ゲテ行カナケレバナラヌト思フ、ア、云フ一ツ／＼ヲ

「ピックアップ」シナイデ、モウ少シ統一シテ戴クヤウニ申上ゲタノデアリマス、甘藷ヤ馬鈴薯ハ、是等ハ皆燒酎ノ原料ニ隨分使ハレル、味醂ヲ造ル原料ニモ使フ、此爲ニ殆ド「ブローケン・ライス」ヲ今日ハ皆輸入シテ使ッテ居ル、是等ノモノヲ抑ヘテ行

ケバ、高粱ヲ抑ヘタ以上ニモット效果ガ舉ル、サウスレバ「カーボン」ヲ取除ケルト云フコトデ養鷄業モ完全ニナルシ、又一方澱粉、飴モ助カル、尙ホ農村ガ助カル、斯ウ云フコトニナル、六十二議會ニ於テモ玉蜀黍、高粱ハ日本デ出來ル譯デハナイカラ、農村振興ノ爲ニ何ニモナラス、サウシテ甘藷ヤ馬鈴薯ニ代ルモノハ皆「ブローケン・ライス」或ハ「セーゴ」ト云フモノハドシ／＼安ク買ッテ來テ居ル、市場ノ値段ヲ見テモ「セーゴ」ハ安イ、ダカラソレヲ使フ、ソレヲ抑ヘナイデ置イテ、唯玉蜀黍ヲ抑ヘテ飴屋ヲ助ケルト云フコトハ飛ンデモナイ

間違ト思ヒマス、其後質問モ澤山アッタト思ヒマスガ、ドウ農林省ハ考ヘテ居ルカ、早速斯ウ云フ點モ手ヲ擴ゲテ行ク、私共一寸見タ所デハ「セーゴ」ガ六千噸、「タビオカ」ガ一萬何千噸、「ブローケン・ライス」ノ如キハ三三四萬噸入ッテ居ルガ、ドンナ風ナ御考カ、此點ヲ更メテ御聽シタイト思ヒマス

○長瀬政府委員 只今御話ノ點デ「タビオカ」「セーゴ」或ハ碎米ノ類ニ付テモ關稅ノ引上ト云フコトヲ考ヘナイカト云フ風ニ承リマシタ、此前ノ議會デ御協賛ヲ得マシテ引上ゲマシタ所ノ玉蜀黍ノ關稅デアリマスガ、之ヲ引上ゲマシタコトニ依リマシテ、

國產會社ノ製品ヲ甚シク壓迫シタカト申シマスルト、其後ノ情勢ニ依リマスルト關稅ハ引上ゲマシタケレドモ、大體ニ於テ外國製品ノ「コンスターチ」ノ輸入ト云フモノヲ殆ド驅逐シテシマッテ居リマス、是ハ御承知ノ通りガラウト思ヒマス、尤モ或ハ關稅ガ引上ニナルト云フヤウナコトデ見越シ輸入品ガアリマシタノデ、ソレデ拵ヘタノカモ知レマセヌ、マダ餘リ時日ガ經チマセヌカラ十分ナ見極メハ付キマセヌデスケレドモ、從來ノ引上以來ノ經過ヲ見マスルト、大體外國製品タル「コンスターチ」ノ輸入ト云フモノハ、先ヅ驅逐シテシマッタヤウナ按配

デアリマス、ソレ以外ニ更ニ「セーゴ」碎米モ引上ゲテ參ルト云フコトニナリマスレバ、是ハ完封スルコトニナリマセウ、此處マデ行クト私共モ一面矢張消費者ノ方モ考ヘナケレバナラヌヤウニ思ヒマスノデ、全部ニ互リマシテ關稅ヲ引上ゲルト云フコトニ付キマシテハ、丁度價格ノ非常ナ變動ノ際デモゴザイマスシ、十分注意致シマシテ將來ニ於ケル方策ヲ出來ルダケ詳細ニ連絡アル方法ニ依リテ一ツ研究シ努力シテ見タイト存ジテ居リマス

○永田委員 私今ノ質問デソレハ觸レズニ置イタノデアリマスガ、今ノ長瀬局長ノ御話ダト六十二議會ノ玉蜀黍ノ引上ハ國產會社ヲ目安ニヤッタヤウニ仰シヤル、是ハ大變ナ間違デアル、吾々ハ一ツノ會社ヲ相手ニシテ此處デ審議シタ考デハナイノデアリマス、私共ハ農村ノ振興ヲ圖ルト云フ意味ニ於テ、サウ云フ風ナ會社ニ利益ガアッテモ已ムヲ得ヌ、我慢ヲシテ貰ハウト云フ、斯ウ云フ出發點カラ言ッタノデ、一ツノ會社ヲ捉ヘテ、其會社ヲ窘メテ行クト云フコトハ堂々タル議會デソナ馬鹿ナ話ハ私ハ出來ナイ、偶々結果ガサウナルカモ知レヌガ、詰リ農村ノ連中、千葉縣或ハ長崎縣——地方ニ依テハ馬鈴薯ヤ甘藷ガ主產物デアル、サウ云フモ

ノ、市價ヲ昂騰サシテ、或ル一部ノ農村ノ振興ニ寄與スルト云フ、斯ウ云フ建前デ言ウテ居ルノデス、其結果ガ偶々一二ノ會社ニ影響スルカモ知レヌト云フコトハ豫想シテ居ルケレドモ、其會社窘メニ掛ッタ譯デハナイ、私共ハサウ云フ建前デ審議シテ居ルケレドモ、偶々其點ニ局長ノ御話ガ觸レテ居ルガ、ソレハ私ハ少シ御謹ミヲ願ヒタイと思フ、出發點ハサウ云フ局部的ノ、洵ニ瘦セタ土地デ、外ニ何モ作ル物ガナイト云フ農村ノ振興ヲ圖ル、斯ウ云フ出發點デアル、是カラ私ハ出發シテソレヲ擴メテ行クト云フコトヲ今言ッテ居ルノデアル「セーゴ」碎米「タビオカ」ト云フヤウナモノト爭フベキモノガドン／＼入ッテ來レバ一向何ニモナラナイデハナイカ、一ツノ會社窘メヲ議會デ審議シタト云フナラバ、ソレハ其目的ヲ達シタカ達シナイカ、時間モ少イカラ分リマセヌシ、又局長ノ言フガ如ク大シタ影響モナイト云フ風ニ吾々ハ考ヘテ居リマス

ケレドモ、サウ云フコトヲ出發點トシテ進ンダノデハナイ、或ハ陳情ナドヲ受ケテ居ルカモ知レヌ、吾々モサウ云フ陳情ヲ受ケナイデハアリマセヌガ、サウシタ建前デハナイノデアリマスカラ、ドウシテモ其點ハ局部的ノ農村振興ト云フ建前デ案ヲ練ッテ

行カナケレバナラヌト吾々モ考ヘテ居ル積リデアリマス、サウ云フ出發點ニ後戻リヲシテ一ツ御考ヘヲ願ヒタイ、後戻リデナク、ソレガ私共ハ適當ナ議會ノ審議ノ方針デアラウト斯ウ思フノデアリマス

○長瀬政府委員 此問題ニ付キマシテ前議會ニ於キマシテ政府委員小平君カラ御答申上ゲテ居ルト存ジマスガ、玉蜀黍、高粱ニ付キマシテ、一方ハ三十錢ヲ一圓七十錢、一方ハ無稅ナノヲ一圓ニ上ゲルト云フコトニ致シマシテ、當時輸入スル澱粉ニ付キマシテハ、既ニ相當ノ課稅ガサレデアリマスノデ、ソレニ付テ此際更ニ稅ヲ増スト云フ理由ハ考ヘテ居リマセヌト云フコトヲ申上ゲテ居ル次第デアリマス、只今農村振興全般ニ付テノ考カラサウ云フ連絡アル方法ヲ執ル考ガナイカト云フ御話ハ、ソレハ私共トシテ洵ニ結構ナ御議論デアルト謹デ承ッテ置キマス、實ハ當時カラ先ヅ以テ起ッテ參ッ所ノ一ツノ大キナ脅威ヲ取除クト云フ點カラ出テ參ッタノデアリマス、無論「セーゴ」碎米、サウ云フ風ノモノ、關稅モ引上ゲテシマフト云フコトニナリマスレバ、農民トシテハ多々益結構ダト云フコトニ相成リマセウガ、一面消費者ト云フコトモ考ヘナケレバナラヌト云フ風ニ思ヒマ

スノデ、是等ノ點ハ更ニ連絡シテモウ一應詳細ナル考慮ヲ廻ラシマシテ、將來ニ對スル方策ヲ急イデ立テタイ、斯ウ考ヘテ居リマス

○永田委員 洵ニ満足致シマシタ、サウ云フ御方針ニ著々進ンデ行キタイ、消費者ノ方ヲ御考ヘ下サルト言ハレルガ、是ハ關稅審議ノ中心問題デ、何時モ消費者ノコトヲ考ヘナケレバナラヌ、併ナガラ「ブロークン・ライス」ナドニシマスレバ澱粉業者モ使ヒマスガ、燒酎ナドヲ造ル醸造業者モ使ッテ居ル、是等ノモノハ——アノ高イ稅金ノ課ッテ居ル酒ノ原料ガ少シバカリ高クナッタカラト云ッテ、酒ノ價格ヲ増ス譯ハナイ、消費者ニ迷惑ガ行ク譯ハナイ、ソコニ代ッテ甘藷ガ入ッテ來タト云フコトニナレバ、是ハ餘程消費者ノ迷惑ナシニ、甘藷ヲ使ッテ居ルヤウナモノガ助ッテ行ク、勿論御調査下サレバソレ等ノ點ハ判明致スト思ヒマス、此「セーゴ」ブロークン・ライス」ナドノ課稅ト云フコトモ、サウ著シク消費者ニ影響シテ行クモノトハ私共考ヘテ居ラナイノデアリマスカラ、一ツ此點ハ能ク御調査願ヒマシテ、アレ一ツヤッテ千葉縣、長崎縣、或ハ北海道等ノ澱粉業者モ助カルモノダ、先ヅ大キイモノヲ取除ケバ宜イト云フ風ニ御考ヘニ

ナッテハ間違デアリマスカラ、尙ホ此事ハ御研究ヲ願ヒタイト思ヒマス——北海道長官ハ見エテ居リマスカ

○金光委員長 北海道長官ハマダ出テ居ラナイサウデス、今電話ヲ掛ケマシタカラ、ソレデハ後ニ……森田君、中島君ノ質問ガ途中デ切レテ居リマスカ其方ヲ先ニ……

○森田委員 ドチラデモ宜シウゴザイマス

○中島政府委員 一昨々日デアリマシタカ、中島委員ノ御尋ニ對シテ御答辯申シマシタコトガ多少不十分デアッタヤウニ思フノデアリマサ「ドグラスファア」ナドニ付キマシテハ、亞米利加邊リカラ參リマス木材ノ平均價格デアルトカ、ソレカラ又生産費、ソレニ對シテ朝鮮ノ北鮮材ノ生産費デアリマストカ、或ハ此方ニ參リマス沖著價格デアルトカ、サウ云フモノヲ對照致シマシテ稅率ヲ盛ルト云フコトモ一ツノ方法ダト思フノデアリマサガ、今回ノ稅率ハ御承知ノ通り二圓ト云フ稅率ニナッテ居リマス、然ルニ是ハサウ云フ方法デ實ハ算出致シタノデアリマセヌノデ、現在有稅品ニナッテ居リマス二圓五十錢ト云フモノガアリマスカラ、ソレヨリモ矢張幾分用途ナドノ點ニ鑑ミマシテ低目ニ致シタ方ガ宜カ

ラウト云フヤウナ、極ク大體ノ考カラ致シマシテ、實ハ二圓ト云フコトヲ盛ッタノデアリマス、中島委員ノ此間ノ御尋ニ依リマシテ、沖著價格ナリ、平均價格ナリヲ實ハ調ベサシマシタ結果、色々表ヲ提出致シマシタガ、其表ノ内容ニ付キマシテハ、多少此方デ誤解ヲ致シテ作ッタヤウナ點モアルヤウデアリマスカラ、一應其表ニ付キマシテ御説明申上ゲテ御諒解ヲ得タイト思ヒマス、先ヅ主稅局カラ出シマシタ表ニ付キマシテ御説明申上ゲマシテ、其次ニ此間御指摘ノ拓務省方面カラ出シマシタ表ニ付テ御説明申上ゲマシテ御諒解ヲ得タイト思ヒマス

○栗山大藏技師 此間中島サンカラ資料ノ提出ノ御要求ガアリマシタ色々中デ、主稅局ノ方カラ杭用米松長丸太横濱沖著價格ノ一例ト云フノ差上ゲマシタガ、此表ハ今度課稅ヲシヤウト致シマス長丸太十米以上十八米ノ範圍ノモノニ付テ、其一本當リノ値段ハ幾ラニナッテ居ルカ、其値段ハ爲替ガ二十弗、二十五弗、三十弗、ト云フヤウナ場合ニハドウナルカト云フヤウナ點ダト思ヒマシテ調べタノデゴザイマスガ、現在長サ十米以上ノモノニ付テハ一括シテ無稅ト云フコトニナッテ居リマサガ、詳シイ統計

ガ取レテ居リマセヌノデ、長サ別ニ仕入ノ値段ヲ調べルト云フコトガ出來ナカッタノデゴザイマシテ、取敢ヘズ御要求ノアル部分ニ付テ、四十五尺以上五十九尺マデノ數例ヲ採リマシテ、其C・I・Fノ分リマシタモノヲ參考ニ致シマシテ、其モノニ付テ二十弗、二十五弗、三十弗ト云フ場合ニ、ソレヲ邦貨ニ直シマシテ、一立方米當リ及一石當リノ價格ヲ算出ヲ致シテ提出致シタ次第デアリマス、隨テ此C・I・Fノ値段ハ事實ノ値段デアリマスガ、是ガ爲替相場ノ變動ニ依テドウ云フ風ニ邦貨ガ動クカト云フ點ハ此表デ分ルト思ヒマスガ、換算致シマシタ石當リ及立方米當リノ値段ハ現實ニ此値段デ以テ取引サレテ居ル値段デハナイノデアリマスカラ、其點ヲ御含置ヲ願ヒタイト思ヒマス、大體此表ニ付テハサウ云フ意味デ拵ヘマシタ、左様御承知ヲ願ヒマス

○北島政府委員 先日中島サンカラ色々數項目ニ涉ッテ御質疑ガアリマシタガ、先ヅ第一ニ朝鮮産ノ長丸太ガ内地ニ入ッテ來ナイデヤナイカト云フヤウナ御質問デアッタト思ヒマス、之ニ付キマシテハ朝鮮總督府デ調査致シタ所ニ依リマスト、昭和六年ニ内地ノ移入數量ハ二千七百七十四立方「メートル」ソレカラ昭和七年ニハ七千六百五十七

立方「メートル」ノ移入ガアッタト云フ調査ニナッテ居リマス、ソレカラツイ三月ノ十一日、一昨日ノ東京ノ或ル木材商ニ就テ調べテ見マシタ所ガ、現在約三千六百石ノ朝鮮ノ丸太ヲ所有致シテ居リマス

ソレカラ第二ニ吾々ノ方カラ提出致シマシタ朝鮮落葉松長丸太及米材長丸太内地沖著價格調(イ)朝鮮落葉松ト云フ表ト、ソレカラ(ロ)米松ト云フ表トノ關係ニ付テ、ソレカラ又大藏省ノ提出サレタ只今栗山君カラ御説明ニナッタ表トノ關係ニ付テノ御質疑ガアリマシタガ、此拓務省側カラ提出致シマシタ表ノ朝鮮落葉松及米松ノ經費石當リ及立方米、是ハ共ニ「メートル」以上十八「メートル」以下ノ價格ノ平均數ヲ茲ニ出シタノデアリマス、ソレカラ米松ニ付キマシテハ「メートル」以上ノモノニ付テノ平均價格ヲ茲ニ計上致シマシタ、ソレデ現實ノ相場デハアリマセヌ、平均相場デアリマスカラ其御含ミデ御覽願ヒタイト思ヒマスガ、大體此朝鮮落葉松ノ表ト米松ノ表トハ比較ニ便ズル爲ノ表デゴザイマスカラ、兩方ヲ御比較願ヒタイト思ヒマス、大藏省ノ提出サレタ表ハ只今御説明ノアリマシタヤウニ一ツノ場合ヲ引出シテノ表デアリマシテ、此拓務省側カラ提出致シマ

シタ表ト直グ其儘比較スルト、多少此間ニ矛盾ノ點ガ出テ來ルト思ヒマス、ソレデ今年ノ一月朝鮮產落葉松ノ最近東京ニ於ケル卸賣値段ノ實例ヲ取ツテ大藏省側カラ提出サレマシタモノト比較致シテ見マス、末口八寸長サ五十尺ノ朝鮮產落葉松ノ一石當リノ沖著價格ガ十一圓十錢ニナツテ居リマス、之ヲ大藏省側カラ提出サレマシタ表ニ大體當嵌メテ見マス、末口直徑八吋ト云フノゴザイマス、是ハ八吋デアリマシテ朝鮮落葉松ノ只今申上ゲタ資料ハ八寸デアリマスカラ、的確ニハ嵌マリマセスケレドモ大體概當スル、長サハ何方モ五十尺、ソレデ大藏省側ノ提出サレタ表ニ依リマス、八吋五十尺、ソレガ爲替相場ガ二十弗ノ場合ニハ一立方「メートル」デ三十六圓九十錢トナツテ居リマスガ、今ノ朝鮮產落葉松ノ現實ノ卸賣値段ノ相場ニ依リマシテ、末口八寸長サ五十尺ノモノ、沖著價格一石十一圓十錢ヲ、一立方「メートル」ニ換算致シマス

ト、三十九圓九十六錢ト云フコトニ相成リマス、ソレカラ山元カラ會寧マデノ運搬費ハドウナツテ居ルカト云フ御質疑ガアツト考ヘテ居リマスガ、ソレハ此朝鮮產落葉松ノ生産費ノ中ニ加算致シテ居リマス、隨テ是モ矢張平均ガ出テ居リマスガ、ソレハ石

當リ四圓五十九錢八厘、ソレカラ立方「メートル」ノ場合ニハ十三圓六十七錢四厘ト云フコトニナツテ居リマス、大體サウ云フ御質問デアツト思ヒマス

○中島委員 モウ少シ前ニ能ク辻褄ヲ合セテ置ケバ一昨日ノヤウナコトガナカタノデアリマスケレドモ、辻褄ヲ合セテ置カレナイカラコンナ事ニナツテ、ドウモ洵ニ御氣ノ毒デアリマス、今ノ北島君ノ御説明ニ依ルト、八吋五十尺ガ石當リ十一圓十錢ト云ッテ居リマス、サウシテ片一方ノ大藏省ノ調べハ大體十圓二十五錢デアリマス、之ニ税金、石當リ大體五十六錢掛ルト見テ宜イデセウ、サウスルトソレニ五十六錢ヲ加ヘレバ十一圓十錢トハタツタ十錢ノ違デアリマス、片一方米松ノ方ハ十一圓デ、朝鮮產ノ方ハ十一圓十錢デ、タツタ十錢ノ違デアリマス、アナタ方ハ税ヲ除イテ居リマスケレドモ、税ヲ入レテ見給ヘ、然ルニ何故此税ヲ課ケテ朝鮮產ノ保護ニナルカト云フコトガ頗ル私共分ラヌノデアリマス、米松ノ方ハ今アナタノ御説明デハ八吋五十尺ガ十圓二十五錢、大藏省ノ方ハ十一圓十錢デ大體宜シウゴザイマスガ、米松ノ方ヘ税ヲ五十何錢加ヘテ見ルト十圓八十一錢ニナツテ居ル、極ク僅シカ違ハナイ、ソレヲ何故ニ保護ス

ルカ、壓迫セラレテ居ルト云フノハ二十錢カ三十錢ノ違ヒノ壓迫ニナツテ來ルノデアリマス、モウ少シ朝鮮ノ方ハ高イノデハアリマセスカ、私共ノ實際ノ調べデハ朝鮮ノ方ガ餘程高クナツテ居ルガ、朝鮮ノ方ノモウ少シ高イ表ヲ御覽ニナルト都合ガ好イノデアリマスケレドモ、低イ表ヲ作ッテ來ルカラ能ク分ラナイノデアリマス、是ハ爲替ガ片方ハ加ツテ居ッテ是ダケニナルノデアリマスカラ、全體カラ言ヘバ別ニ反對スル譯デアリマセスケレドモ、ソレハ相當杜撰ニ出

來テ居リマス、實際ノ所相場カラ言ヘバ二千石アルトカ何トカ云フコトヲ森田君モ大分能ク知ツテ居リマス、朝鮮ノ木材ガ米材ニ依テ市場ヘ出テ壓迫セラレテ居ル状態ニアルノデアリマス、今ノ狀態デハマダ早イ、何かソコニ困難ガアルノデハナイカ、私ハ政務總監ガ御出デスカラ御聽致シタイ、北鮮ノ開拓ダト云フコトヲ言ッテ居リマスカ、是ハ出來ルノデスカ、私共其點ヲ非常ニ疑問トシテ居ルノデアリマス、ソレカラモウ一ツハ亞米利加ノ方ノ爲替ガ六割モ上ツテ居ルカラ、是ガ高クナツテ居ル、亞米利加ノ方デ見マスト爲替關係ガチットモナク來テ居ルノデアリマス、アナタ方ノ調べデ見ルト、十一圓十錢ト見デモ、十圓八十何

錢ト見マシテモ、大體サウ大シタ違ヒハナイノデアリマス、ソレヲ何ノ爲ニ保護スルカ、極ク僅ナコトド之ヲ保護スルト云フコトハ私共ハ甚ダ其理由ガ分ラナイ、其點ヲモウ少シ詳シク御説明願ヒタイ

○北島政府委員 先程申上ゲマシタ通り朝鮮產落葉松ノ今ノ現實ノ相場ノ一例ヲ採ッテ是ト比較シテ見マス、朝鮮產落葉松ノ方ハ一立方「メートル」ニ付テ三十三圓九十六錢ニナツテ居ル、ソレカラ大藏省ノ調べニ依リマスルト二十弗ノ場合ニハ三十六圓九十錢、其間ニ約三圓ノ開キガ出ル、ソレカラ一石當リノ場合ニ於キマシテハ朝鮮ノモノガ十一圓十錢、ソレカラ米松ノ方ガ十圓二十五錢、之ニ一石當リノ今度ノ税ノ五十六錢ヲ合計シテ十圓八十一錢、十一圓十錢ト十圓八十一錢ノ間ニ詰リ三十錢ノ開キガ出テ來ルノデアリマス

○森田委員 私ガ此間カラ再々御尋シヨウト思ッテ居リマシタ木材ニ關スル關稅ノ問題デアリマス、只今ノ中島君ノ質問ニ關聯シテ、政府ノ御示シニナツテ居ル參考材料ト政府委員ノ答辯ガ的中シテ居ラヌト云フコトヲ申上ゲテ見タイト思ヒマス、御尋サル議員ハ一人カ二人デアルノニ、答辯ヲナサル方ノ政府委員ハ二十三人モ來テ居ラレ

ル、二三十人ノ人ガ來テ居ラレテ、其答辯材料ノ提供係ト云フカ、智慧ノ入レ係ト云フカ、多勢ノ附人ガアッテ居ラレル、之ニ對シテ、私ハ斯ク澤山來テ居ラレル程役所ハ關ナ所カト感ズルノデアリマス、此間カラ考ヘテ居ル事デアリマスガ、出來ルナラバ政府ニ於テ此位ノ答辯ハ成ベク二三ノ政府委員デ出來ルヤウニ統一アル答辯、統一アル資料ヲ出サレルヤウニシタイト思ッテ居リマス、ドウモ此間カラ見テ居ルト三十人モ政府委員ガ來テ、寄ッテ群ッテモ満足ナ答辯ガ出來ヌ、シドロモドロデ要領ヲ得ナイ、モウ少シ統一アル一ツノ議案ヲ出シテ行ケバ、ソレニ對スル答辯者ハ事務的ノモノナラ一人カ二人デ簡單ニ答辯シテ行ケルデセウ、甚ダ其點ハ政府ノヤリ方ガ仰山過ギルヤウデ不快ニ思ウテ居ル、斯ウ云フ事ヲ一ツ頭ニ置イテ戴イテ、私朝鮮ノ丸太ノ問題ニ付テ申上ゲマス、朝鮮ノ丸太ヲ保護スル爲ニ今度米材トカ加奈陀材ニ對シテ關稅ヲ課スルト云フコトデアリマ스가、朝鮮ノ丸太ハ一體ドノ程度内地ニ這入ッテ居リマスカ、米丸太ガドノ程度日本ニ這入ッテ居リマスカ、拓務省ガ發表シテ居ル昭和七年度ニ於ケル長丸太ト稱スルモノヲ一萬四千立方「メートル」ト假定シ、十「メ

ートル」以上十八「メートル」迄ノ中間ヲ採ルトシテ、凡ソ七千本デアルガ、日本ノ内地デ消費スル大キイ丸太ハ七千本ヤ、八千本ヤ、一萬本デハ勿論アリマセヌ、隨テ只今御説明ニナッタヤウナ少數ノモノデ、日本ニ於ケル内地消費ニ足ルモノデモ何デモナイ、問題ニモナラヌヤウナ、百分ノ一ニモ當ラヌヤウナ少數ガ入ッテ來ル爲ニ、關稅ヲ設ケテマデ消費者ヲ困セナケレバナラスト云フコトハナイ、ノミナラズ朝鮮ノ事ハ今ノヤウナコトヲ考ヘレバ杜撰ナ事ガ分ル、朝鮮森林落葉松蓄積及利用可能量ト云フモノ、中ニ十「メートル」以上ノモノガ約九割以上アルト書イテアルガ、末口尺以上ノモノデ十「メートル」モアルモノハ斯ウ云フ風ニ澤山出來ルノデアリマセヌ、末口五寸、六寸、七寸、八寸ト云フモノハ此中ノ九割マデハ今度ノ關稅ノ問題ニナルガ、末口尺以上ノモノハ澤山ニ出來ナイ、隨テ朝鮮丸太ヲ保護スルコトニハナラヌ、朝鮮丸太ヲ保護スルノナラバ、尺以上ノ丸太ガ一體ドレダケ出來ルカト云フコトヲ調べナケレバナラス、今ノ政府委員ハ何千石カ來テ居ルト仰シヤルガ、ソレハ來テ居テモ尺以下デス、尺以上ノモノデハアリマセヌ、以上ノモノデアルナラバ十「メートル」

以下デアリマス、長丸太デナイナラバ來テ居リマスカ、長丸太ノ十「メートル」乃至十八「メートル」ノモノデ尺以上ノモノ、斯ウ云フモノハ入ッテ居リマセヌ、何處ヲ御調べニナツタカ、實地檢證ヲヤッテモ一向差支ナイト私ハ思フノデアルガ、是デハ朝鮮丸太ヲ保護スル建前ニハナラナイ、又此間ノ答辯ヲ聽イテ居ルト、北海道材ト南洋材ノ比較ヲヤル際ニ、木島サント仰シヤイマシタカ、政府委員ガ仰シヤッタノニ、事務家カ技術家カ一向存ジマセヌガ、南洋材ハ窓枠床材等ニ用キルト仰シヤッタガ、窓枠ヤ床材ニハ狂ヒガ來ルノ決シテ使ヒマセヌ、學校トカ工場トカ云フモノ、ユカ板ニハ相當「ラワン」材ヲ使ッテ居リマスケレドモ、窓枠、腰板、羽目板其他ノ造作材ニハ狂ヒガ起キテ使ヘヌノデス、隨テ北海材ヲ壓迫スルト仰シヤッタノハ北海材ノ何ヲ指サレタカハッキリ致シマセヌガ、衝突スルト云フノハ「ラワン」材ガ北海材ノ何ニ衝突スルノデアラウカ、強ヒテ言ヘバ櫓ノユカ板ヲ近時使ヒマスカ、ソレナラバ價格ノ開キガアリマス、櫓ノ方ガ安イ位デ供給シテ居ルノデアルカラ何等差支ナイ、又桤ニ付テモ御話ガアツタガ、桤ト云フモノハ殆ド下駄材ガ大部分ヲ占メテ居ッテ、ユカトカ造作トカ云フ

モノニハ使ッテ居リマセヌ、隨テ北海材ヲ保護スルト云フ意味カラノ課稅デアルナラバ私ハ要領ヲ得ヌト思フ、若シ大藏省ノ歳入ヲ助ケテヤルト云フノナラバ僅カノ税金デアルケレドモ、收入ガ増スト云フコトハ肯定出來ルガ、北海材、朝鮮丸太ノ保護ニナルト云フコトハ意味ヲ爲サヌ、實際保護ヲ加ヘヨウトスルナラバ、日本ノ消費ニ關スル方面ノコトヲ考慮ニ加ヘネバイカヌ、一立方「メートル」ニ二圓カ二圓五十錢ノ關稅ヲ課ケテモ何ニモナラナイ、其位ノ市價ハ日ニノ違ッテ居ル、一立方「メートル」即チ三十六立方尺、オニ換算スルト七才七餘リニナリマス、ソレニ二圓位ノ關稅ヲ課ケテモ保護ニモ何ニモナラナイ、保護關稅ナラバモウ少シ高率デヤラナケレバ駄目デアル、同時ニ長サ十「メートル」以上十八「メートル」ノ中間ヲ採ッテ十四「メートル」ノ尺デ四十八尺ト云フヤウナモノガ、ソナ少數ノモノガ來タンデヤ間ニ合ハヌ、ソレダカラモウ少シ保護ヲ加ヘテ貰ッテ、是大藏省ニ對シテ農林省、拓務省ガ弱イト云フコトハ内輪ノ話デアッテ、表面ニ出サル話デハナイ、ダカラ對等ニ交渉シタナラバ公平ナ見地カラ出來ルノデハナイカト思フカラ、紙切レバカリヲ餘リ澤山出サズニ、一

覽表ヲ作ッテハッキラト關稅ヲ課スルモノト保護ヲ加ヘルモノヲ對照セラレタナラバ、今是ガ保護ニナラスト云フコトハ明ニナルシ、同時ニ内地ノ消費ト云フモノハ直チニ北鮮カラ供給出來ヌコトハ、此資料ニ依テ明カデアル、又南洋材ト云ッテモ日本人ガ南洋デ經營シテ居ルノデスカラ、ソレニ關稅ヲ課ケテ先方ノ感ジヲ惡クスルヨリモ——

何レニシテモ私ハ深ク追窮スル積リハアリマセスガ、此丸太ノ問題ハ忽チ消費ノ問題ニナリマスカラ、北鮮ハ此處ニ出テ來ヌモノニ先廻リシテ課ケヌデモ、ソレダケノ數量ガ内地ニ入り出シテカラ課ケテモ決シテ遅クハナイ、ソレニ違フ所ガアルナラ書面ナリ口頭デ十分反駁ヲ加ヘラレテ、ソレニ對シテ肯定出來タラ一向差支ナイノデアリマス

○中島委員 先刻北島君ガ申シマシタヤウニ、私ガ數字カラ算盤ヲ持ッテ見ルト、三十錢カ二十九錢ノ違デスヨ、而モ片一方ハ横濱沖著、アナタノ方ハ大阪沖著デセウ、運賃ガ大阪カラコッチヘ來ルノニ、一本ニ一回モ掛レバ、實際當業者ニ就テ私共調ベテ見タガ、米松丸太ニ禁止關稅ヲ課ケナケレバ駄目ダト思フ、モウ少シ大藏省ノ方モ拓務省ノ方トモ能ク御研究サレテ、本當ニ朝鮮

北滿ノ開拓ヲヤルナラバ、禁止關稅ヲ加ヘタ方ガ宜イト思フ、唯一石五十六錢カ五十錢位ナモノヲ課ケテ見タッテ何モナリハセヌ、ヤル位ナラ澤山課ケテ、禁止關稅ヲ課ケナケレバ問題ニナラス

〔發言スル者アリ〕

○金光委員長 私語ヲ禁ジマス

○中島委員 本當ニ保護スル積リナラモウ少シ方法ヲ執ラナカッタラ、今言フ通り三十錢位ナラ問題ニナラスト思フ、森田君ノ仰シヤッタノハ同感デアル、朝鮮カラ此處ニ出テ來レバモット高クナル、私共ノ調ベタノハアナタ方ノ調ベヨリモット高クナッテ居ル、私共ハ木材商十四軒ニ付テ調ベタノヲ持ッテ居リマス、コンナモノヲ出シテモ仕方ガナイカラ出シマセヌガ、其點モウ少シ御注意サレテ御研究サレタガ宜イト思ヒマス、マダ細カク數字ヲ拓務省カラ戴イタノヲ捉ヘマシテヤッテ戴クト、大分ヲカシイ所ガアルノデス、運賃保險料等ガドウダトカ、餘リヤ、コシイカラ申シマセヌケレドモ、ドウモ十分デナイト云フコトヲ申上ゲテ置キマス、モウ少シ「ラワン」材ニ付キマシテ——是モドウモ拓務省ハ極力御反對サレテ居ッタ、ソレニ今度二圓位課ケルヤウニナリマシタガ、ドウ云フ譯デ大藏省ト讓合ウ

タノカ「ラワン」材ヲ妥協サレタノカ、ドウ云フ譯デ「ラワン」材ニ稅ヲ課ケルコトニ拓務省ガ賛成シ出シタカ、其理由ヲ聽カセテ戴キタイ、今マデ極力反對セラレテ、此前ノ議會ニモ中々案ガ出テ來ナカッタ、ソレガ今度ノ議會ニナッテ漸ク安イ稅デスガ、二圓位ノ稅デスカラ大シタコトモナイガ、課ケルヤウニナッタ、其拓務省ノ心境ノ變化シタ事情ヲ少シ話シテ戴キタイ、私共ノ調ニ依リマスト云フト中々「ラワン」材ハ高イノデス、大體去年ノ安値ノ時ニモ北海道ノ闊葉樹ト比較致シマシテモ「ラワン」材ト云フモノハ可ナリ高ク、爲替ノ關係デ上ッテシマッテ居ル、今ノ値段デ百石ガ九百五十圓見當ニナッテ居リマス、サウシテ北海道ハドウカト云フト二百圓見當ダケ安イ、今ノ相場デ百石ガ七百五十圓見當ニナッテ居ル、安イ時デモ百石二百圓位ノ開ガアッテ「ラワン」材ノ方ガ高イノデス、ダカラ是モ安イ材ヲ保護スルコトニナッテ保護ノ理由ガ立タナイ、私ハ之ヲ見テモ爲替關係デ爲替ハ一遍ニ六割上ッテ居ルガ、爲替ガ六割上ッタカラ、全部六割ト云フ譯デモナイデセウ、併シ實際ノ市價ヲ見マスト、深川ヘ行ッテ御調ベニナレバ分ル、百石ニ付テ二百圓違ッテ居ル「ラワン」材ノ方ガ高イ、去年ノ四月ノ春

頃カラ矢張二百圓ノ開キヲ持ッテ居ル、然ルニドウシテ北海道材ヲ保護スルカ、而モ森田君ノ言ハレタヤウニ用途ガ是ハ違フノデス、片方ノ「ラワン」材ハ全ク用途ガ違フ、ダカラ殆ド壓迫シテナイ、却テ北海道材ヲ案ス原因ハ何處ニアルカト云フト、北海道ガ森林收入ニ重キヲ置イテ勝手ニ伐ッタリ、其伐方ヲ時ノ狀況ニ依テ多クシタリ少クシタリシタカラ、市價ヲ案シテ居ルモノガ澤山アル、是ハ樺太材モ同ジコトデアル、樺太廳ノヤリ方ガ樺太材ヲ案シ、北海道廳ノヤリ方ガ内地ノ材木ヲ案ス、是ハ皆分リ切ッタ話デアル、南洋材ノ壓迫ト云フト當業者ハ笑ッテ居ル、是ハドウ云フ譯デ南洋材ヲ引上ゲルノカ、拓務省ガ長イ間ニ互ッテ南洋材ノ引上ニ嚴シク反對ヲシテ居ッタノガ、ドウ云フ譯デ引繰返ッテ來タカ分ラナイ、其事ヲ説明シテ戴キタイ、是ハ簡單ナモノデアルカラドウデモ宜イガ、餘リ議員ガ嘗メラレテ居ルヤウニ考ヘラレテモ困ル、政府ノ方デモ宜イ加減ニヤッテ、コンナヲカシイ譯ノ分ラヌヤウナ議會ナラドウデモ宜イト言ヘバソレツ切りダガ、サウモ行カヌ、是ハ皆利害關係者ニモ影響シテ來ルモノデアルカラサウハ行カヌ、私共市價ヲ見テモ百石二百圓モ違ッテ居ル、步留カラ言ッテモ、北海

道材ハ歩留ガ五割シカナイ「ラワン」材ハ七割モアルト云フコトニナッテ來ルト二割モ違ッテ來ル、其歩留カラ云フト總テノモノ、計算モ歩留デヤッテ行カナケレバナラヌ「ラワン」材モ歩留デヤッテ行カナケレバナラヌ、今マデ米松デモ歩留トカ運賃トカ細カイコトヲ言ヘバ切りガナイガ、大體ノ市價ヲ見テモ二百圓モ違ッテ居ル、私ハドウ云フ譯デ北海道材ヲ保護スルノカ一向分ラナイ、ソレヲ能ク分ルヤウ納得スルヤウニ、拓務省ノ心境ノ變化ガ急轉直下ヲ致シタ理由ヲ御説明願ヒタイ

○北島政府委員 只今ノ中島サンノ御質問ニ對シテ御答致シマスガ、其前ニ一寸朝鮮ノ落葉樹ノ沖著價格ト云フノハ、大阪沖著デハナイカト云フ御話デアリマシタガ、アレハ芝浦ノコトデアリマス、ソレカラ南洋材ニ付テ拓務省ガ去年マデハ極力反對シテ居ッテ、今ニナッテドウシタカト云フ御話デアリマシタガ、ソレハ實ハ今マデ農林省或ハ大藏省、拓務省ノ間ニ色々議論ガアッタコトハ、大體中島サンモ實際上ノ事情ハ御承知デアラウト思ヒマスガ、其後爲替關係カラ申シマシテモ、寧ロ南洋材ニ更ニ重稅ヲ課スルト云フ理由ハナイデヤナイカト云フヤウナ御意見ガアルカモ知レナイガ、吾

吾拓務省ノ立場ト致シマシテハ、大體カラ申シマス、矢張南洋ニ於ケル邦人ノ事業發展ト云フ見地カラ見テ、餘リ好マシイ事トハ今デモ考ヘテ居リマセヌ、併ナガラ一方衆議院デ全會一致デ關稅引上ノ決議モアリマシタシ、又北海道方面ノ潤葉樹材、サウ云フモノニ從事シテ居ル者ノ保護ト云フコトモ矢張無視スル譯ニモ參リマセヌシ、而モ此程度ノ稅率デシタラ、南洋ノ法人ノ企業ニモ非常ナ打撃ハ與ヘマイト考ヘマシテ、此程度ノ稅率ナラ差支ナカラウト云フ風ニ、多少ノ心境ノ變化ハアルカモ知レマセヌガ、サウ云フ風ニ致シタ次第デアリマス、ソレカラ森田サンノ先程御質問デハアリマセヌガ、一寸御意見ガアリマシタガ、朝鮮カラ十「メートル」以上十八「メートル」ノモノガ入ッテ來ル、長丸太ハ末口一尺以下デ、一尺以上ノモノハアルマイト云フヤウナ御話デアリマシタガ、一尺以上ノモノニ對シマシテハ、米材ニ對シ現在一立方「メートル」二圓五十錢ノ關稅ガ課ッテ居ル、ソレデ此方ニ付キマシテハ、新ニ朝鮮ノ長丸太ヲ保護スル必要ハナイノダト云フヤウニ考ヘマス、問題ハ寧ロ一尺即チ三十「センチメートル」ヲ超エザルモノト云フコトガ問題ニナル譯デアリマス、ソレデ

北鮮ノ開拓ノ現在ノ大體ノ目標ト致シマス所デハ、一箇年ニ約三十萬立方「メートル」ノモノヲ生産致シマシテ、其中十「メートル」以上ノ長丸太ニ利用シ得ルモノガ其中約九割、二十七萬立方「メートル」サウシテソレヲ朝鮮内デ消費致シマス數量ガ約十二萬八百立方「メートル」ノ豫定デアリマス、其超過スル約十七萬立方「メートル」ニ付キマシテハ、大體内地ニ持ッテ來ル、外ニ販路ノ見付ケロガアリマセヌカラ、ソレデ米材ニ對シマシテ或ル程度ノ課稅ヲシテ、多少朝鮮材ヲ保護スル必要ガアルト云フ風ニ考ヘテ居ル次第デアリマス、是デハ稅率ガ低過ギルデヤナイカト云フ御疑問ガ又御有リノヤウデアリマスガ、ソレハ消費稅者ノ立場ヲ考慮致シマシテ、餘リニ禁止關稅的ノモノヲ課ケルト云フコトハドウカト思ヒマシテ、取敢ヘズ此程度ノモノニ止メタ次第デアリマス

○中島委員 今用途ノ問題デ森田サンノ御質問ノ方ハ御答ガナイノデアリマスガ、ドウモ私共ハ用途ガ違フト思フノデアリマス

○木島政府委員 森田委員ノ御話サレタ此南洋材ノ用途ト、北海道材ノ用途トノ違フト云フ御話デアリマスガ、此用途ニ付キマシテハ、一昨日御話申上ゲタ通りニ、農林

省ノ調査スル所ニ依リマス云フト、南洋材ノ用途ト北海道材ノ用途トハ殆ド一致シテ居ル、唯其中デ間違ノ因ニナッタと思フノハユカ板ノコトヲ關西ノ方デハトコ板ト言ッテ居リマスカラ違ヒガアッタノデゴザイマスガ、ユカ板トシテハ北海道材ト、南洋材トハ全然用途ハ同ジナノデアリマス、其他ノモノト致シマシテハ、大體建具材ニ致シマシテモ、家具材ニ致シマシテモ、器具材ニ致シマシテモ、船舶材ニ致シマシテモ、大體ニ於テ用途ハ一致シテ居ル、ソレカラ市價ガ南洋材ノ方ガ高イニ拘ラズ、北海道材ヲ壓迫スルノハワカシイ、其點ニ付キマシテハ矢張私共ハ其關係デ南洋材ガ北海道材ヲ壓迫シテ居ル、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス、是ハ一昨日ノ手代木委員ノ御質問ニ對シテ御答シタ通り、昭和七年中ニ於ケル所ノ、南洋材ノ市價ハ一石ガ六圓四十七錢ニナッテ居リマスガ、北海道材ハ一石五圓五十三錢、之ヲ北海道材ヲ荒板ニ作リマス場合ノ歩留ハ大體五割、南洋材ノ方ハ御承知ノ通り七割カラ八割ニナッテ居リマス、北海道材ヲ五割ノ歩留ト致シマシテ、五圓五十三錢カラ換算致シマス、荒板一石ヲ作ルノニハ十一圓六錢バカリ掛ッテ居リマス、ソレカラ南洋材ノ方ハ市價ガ六圓四十

七錢デ、荒板一石ヲ作ルト致シマシテ九圓二錢バカリニナリマス、其間ニ一寸二圓四錢バカリノ差ガアル、此廉價ナコトガ南洋材ガ北海道材ヲ壓迫スル、斯様ニ考ヘテ居リマス

○中島委員 歩留ノ點ハソシナニ違ハナイト私ハ思フ、六割ノ、七割ノ、八割ノト言ッテ居リマスガ、北海道材ノ方ハ五割ニナッテ居ル、ソレニ付テハ北海道材ノ方ハ、ドウ云フ材木デアルカ、檜、樺、松、等皆ソレゾレ違フノデアリマス、ドレヲ平均サレテ歩留ガ五割ト仰セラレテ居ルノデアリマスカ、檜デスカ、樺デスカ、松デスカ、歩留ハ、北海道材ノドノ樹木ガ何割トサレタノデアアルカ、北海道ノソレノ樹木ニ依テ皆違フノデス、眞直グズット行ッテ居ル奴ト、曲リクネテ居ル奴ト、長イ奴ト、又重イ奴ト、皆各々北海道材ニ依テモ歩留ガ大分違ッテ居ルノデアリマスガ、五割ト云フノハドノ樹木ヲ指シテ仰シヤッテ居ルノデスカ、樹木ニ依テ歩留ガ違フノデスカ、私共北海道材ハ五割ダト云フヤウナコトハ頗ル杜撰ナ御答辯デアッテ、何ト何ト平均シテ、何處デ出来タカラ五割ダト云フヤウナ御説明ナラ又承服シマスケレドモ、唯南洋材ハ七割ダ、ソレカラ割出シテ見ルト市價ガ南洋材

ノ方ハ高クテ、北海道材ノ方ハ安イケレドモ、斯ウシナケレバイカヌト云フヤウナコトハドウモ極メテ不思議ナコトニナッテ來ルノデアリマス

○木島政府委員 五割ト申シマシタノハ、大體ガ五割ト云フノデアッテ、今南洋材ノ用途ヲ割出シテ居リマスノハ、御話ノ通りニ桂、樺、松、檜、斯ウ云フヤウナモノデアリマスガ、斯ウ云フヤウナモノニ付キマシテモ、個々ノ木ニ付テ見マスレバ、五割ノモノモアリマセウシ、下ノモノモアリマセウシ、大體ノ歩留ガ五割程度デアル、斯様ニ考ヘテ居リマス

○中島委員 南洋材デモ歩留ガ五割ノモノガ澤山アリマスシ、南洋カラ持ッテ來ル時ニ、節ガ傷ンデ、ゴツ／＼ニナッテシマッタリ、嵩口ヲ入レラレタリ、腐ッタリシテ歩留ガ多イ奴モ、少イ奴モアリマスガ、檜ナラ檜ニ付テドウトカ、木ヲ挽イテ居ル所ニ行ッテ御調べニナッタラ直グ分リマスガ、屑ガドレ程、皮ガドレ程出ルカ、ドレ程中ノ所ガ出来ルカト云フコトガ分ル、ソレデナケレバ歩留ハ比較ニナラナイ、大體ニ於テ市價ハ南洋材ガ遙ニ高イ、北海道材ノ方ガ遙ニ安イ、ソレデ却テ北海道材ガ南洋材ニ壓迫ヲ受ケテ居ル、ソレハ用途ガ違フケレ

第六類第一號 造幣局工場及其ノ附屬設備ノ新營費ニ關スル法律案(政府提出)外二件委員會議錄 第二十回 昭和八年三月十三日

ドモ、根本ノ北海道材ノ森林收入ト、樺太材ノ森林收入トハ同ジデナイノデアリマス、アノ源ヲ正サナケレバ、此本當ノ北海道材ト云フモノハ、大藏省ノ見積ニ依リマスト、四百何萬圓ト云フモノガ、一年ニ御承知ノ通り大藏省ノ直屬ニナッテ居リマス、是ハ農林省ヲ經テ來テ居ラナイ、アナタノ方ハ知ラスカモ知レマセヌガ、大藏省デ貰ッテ來タ書類ガアリマスガ、アノ森林收入ヲ擧ゲルノニ、多ク出シテ見タリ、市價ヲ下ゲテ見タリシテ色々ヤル、其關係ガ餘程アル、ソレハ森田サンガニコ／＼御笑ヒニナッテ居ルカラ御承知デアリマセウガ、ソシナヤウナコトヲ根本カラ正シテ行カナケレバナラス、矢張此前ノ樺太材ノ關係ト同ジダト思ヒマス、歩留論カラ言フト一寸議論ガ多クナル、是ハ又深川ノ木場ニデモ行ッテ、或ハ人ヲ呼ンデ來テ調べナケレバナラスコトニナッテ來マスカラ、私は是レ以上細カイコトヲ申ス時ガナイカラ申上ゲマセヌケレドモ、關稅ヲ上ゲルト云フ理由ハ私ハ立タヌト思ヒマス、能ク詳シク調べタ上ニ御研究ニナッタラ宜カラウ、私ハマダ質問ガアリマスケレドモ、大體同ジコトデスカラ是デ打切りマス

○森田委員 私ハ後デユックリヤラシテ貰ヒマスガ、今ノ歩留問題ダケ簡單ニ伺ヒマス、歩留ガ一致セヌトカドウトカ云フコトハ不思議ニ思フ、是ハ大體材木ト云フモノヲ製材スルニハ、二間物デ製材スル、南洋材ト北海道材ノ歩留ガ違フト云フノハ一體何ヲ標準ニ言フノカ、例ヘバ丸太ナラ丸太ニシテモ、假ニ末口一尺ナラ一尺、二尺ナラ二尺ノ二間ノモノヲ出シテ、歩留ガ大體何ボト云フコトハ、南洋材デアラウト、北海道材デアラウト同ジデアリマス、押角、柚角ト言ヒマスガ、若シ歩留ヲ論ズルナラバ押角ノ方ガ柚角ヨリモ宜イ、押角ノ製材ノ歩留ガ多クテ、丸太ノ方ガ少イ、斯ウ仰シヤルナラ得心ガ行ケルノデアリマスガ、同ジヤウナモノヲ以テ、同ジヤウニ製材シテ歩留ニ甲乙ガアル筈ノモノデナイ、唯乾燥シタ結果、厚味ガ何厘減ッタカ減ラヌトカ云フ議論ナラバ、ソレハ材木ノ乾燥ノ程度ニ依テ、材木ノ厚サガ減ッテ來ルコトハアリマスケレドモ、併ナガラ同一ノ乾燥シタ、同一ノ丸太ヲ同一ノ製材機ニ掛ケテ製材シタ場合ニ、歩留ニ甲乙ガアル筈ガナイ、製材ニ巧拙ガアレバ兎モ角、ソレデモ、鋸減ト云フモノガ大體決ッテ居ル、切ッテ殘ル鋸屑ニナルモノハ大體幾ラ、此厚サガ同ジデアルナラバ同ジ挽道ヲ挽イテ行クカラ歩

九

留ニ甲乙ガアルト論ゼラレルト云フコトハ
不思議ニ思フノデアリマス、若シ押角ト杓
角ガ丸太ニ依リマシテ歩留ガ違フト云フ御
考デアルナラバ、高低ガ出來マスガ、同じ
モノヲ製材シタ場合ニ於テ歩留ニ甲乙ガア
ルト云フコトヲ論ゼラレルノハ不思議デア
リマス、而モ北海道材ハ五割、南洋材ハ七
割デアルト云フ根據ハ何處カラ出テ來ル
カ、ドウシテサウ云フ風ナ計算ガ出來ルノ
デアリマスカ、是ハ製材シテ減ルコトハ農
林當局ハ御承知ダト思ヒマス、鋸減シカ減
ラヌ、鋸道ダケガ減ルノデアリマス、同じ
厚サノ鋸ヲ使ッテ製材ヲシテ、其減リ歩合ニ
ドウシテ甲乙ガ出ルノデアリマスカ、若シ
原料ニ相違ガアレバ是ハ別問題デアリマ
ス、押角トカ杓角トカ云フモノヲ以テヤッタ
場合ト丸太ヲ以テヤッタ場合ハ違フト言ハ
レルナラバソレハ肯定ガ出來ル、隨テ私ハ
此歩留ヲ論議スルコトハ不思議ニ思フノデ
ス、モウ少シ腹ニ入ルヤウニ其點ヲ御答ヲ
願ヘレバ宜イト思ヒマス

○木島政府委員 大變細カイ御話ニナリマ
シタガ、私共ノ申シマスコトハ、大體南洋
カラ來マス物ハ良イガ、北海道カラ來テ居
ルモノハ枝ミタイニナッテ居ッテ、ソレヲ製
材シマスト北海道ノ方ハ五割程度シカ取レ
ナイ、南洋ノ方ハ七割程度ハ取レル、斯ウ
云フヤウニ見テ居リマス

○森田委員 サウスルト歩留ハ議論ニハナ
ラナイト思フ、南洋ノ方カラハ良材ガ來テ、
北海道カラ來テ居ルモノハ枝木デアアル、斯
ウ仰シヤル、ソレナラバ比較ハ出來ヌデヤ
ナイカ、枝木ミタイナモノカラ製材シタモ
ノト、當リ前ニ成長シタ丸太ヲ以テ製材シ
タモノヲ比較シタノデハ、ソレハ議論ニハ
ナラナイ、歩留ノ議論ハ製材ノ鋸道ヲ言フ
ノデアッテ、玄人ノ議論トシテハソレハ問題
ニナラナイ、材木ノ比較ヲスルニ當ッテ枝木
ヲ持ッテ來ルノト、正常ナ丸太ヲ持ッテ來ル
ノデハ、枝木ノ方ガ劣ルコトハ論ノ無イ話
デアアル、枝木ニハ二間モアルモノハアリマ
セス、ダカラ此歩留ノ問題ハ私ハ議論シテ
モ駄目ダト思フ、今ノヤウナ政府委員ノ答
辯ナラ歩留ニ付テ一向理窟ヲ闘ハスコトガ
出來ヌ、同じ一石ノ樅材ヲ以テ結局ノ歩留
ヲ論ズルナラバ議論ニハナルガ、枝木ト元
木トヲ捉ヘテ此歩留ノ研究ヲヤルノハ無理
デアリマス、此點ハモウ少シ研究セラレン
コトヲ望ミマス

○木島政府委員 私ノ言葉ガ足りナカッタ
ノデスガ、元木ト枝木ヲ比較シタ譯デハア
リマセス、大體ニ於テ南洋材ニ比ベテ北海
道材ノ方ガ小イ、斯ウ云フ意味ノコトヲ申上
ゲタノデアリマス、北海道カラ來ルノハ、
枝木バカリダト云フ意味デ申上ゲタノデハ
アリマセスカラ、左様御承知ヲ願ヒマス

○手代木委員 今歩留ノ問題ガアリマシタ
ガ、私ハ木材業者デハアリマセヌガ、北海
道ニ居リマシテ木材ノコトヲ能ク承知致シ
テ居リマス、政府委員ハ北海道材ハ殆ド枝
木同様ノ物デアルト云フヤウナコトヲ言ハ
レタノデアリマスガ、確ニ北海道ノ木材ハ
育チガ悪いノデアリマシテ、中ニハ寒イ爲
ニ凍ッテ割レルノモアリマス、サウ云フ次
第デアリマスカラ、サウ云フ木材モ相當入ッ
テ居ルノデアリマス、第一曲ッタ物ガ多イ
ノデアリマシテ、南洋材ノヤウナ大キイ木
ハ無いノデアリマスカラ、ドウシテモ角材
トシテハ洵ニ粗末ナ木ガ多イノデアリマス
カラ、自然サウ云フコトニナルコトハ吾々
トシテハ十分ニ理會ガ出來ルノデアリマ
ス、併シ其問題ハ私ノ質問ノ趣旨デハアリ
マセヌガ、序ナガラソレヲ私カラ申上ゲテ
置キマス、御伺シタイノハ長丸太ノ問題デ
アリマス、亞米利加カラ入ッテ來ル長丸太
ニ無稅ノ物ガアル、木材業者ガ長丸太トシ
テ内地ニ持ッテ來テ、之ヲ短ク切りマシテ、
サウシテ詰リ無稅品ヲ市場ニ賣出ス、斯様

ナコトガ大分行ハレテ居ルヤウニ聞クノデ
アリマス、多分政府ノ方デモ其邊ノコトハ
御調査ニナッテ居ラル、ダラウト思ヒマス
ガ、サウ云フコトヲシテ關稅ノ課稅ヲ免レ
テ、今度ハ無稅品ヲ短尺物ニ直シテ賣出ス
ト云フヤウナコトニナッテ居ルトシタナラ
バ、其點ハ餘程取締ヲシナケレバナラヌコ
トニナル譯デアリマス、サウ云フ巧妙ナ脱
稅ヲ圖ッテ居リマスカラ、之ヲ防止シナケ
レバナラヌ、一方朝鮮ノ長丸太ヲ保護スル
意味バカリデナクとも、左様ナ物ヲ防グ上
ニ於テモ、私ハ長丸太ニ課稅スルコトノ理
由ハ相當ニアルト思フノデアリマスガ、今
度ノ此長丸太ノ課稅ノ理由ノ中ニハ左様ナ
意味ハ含マレテ居ナイヤウデアリマスケレ
ドモ、實際ニ於テドンナ狀況ノモノデア
ルカ、御調べガ付テ居リマスレバ其點ヲ承リ
タイト思ヒマス

○中島政府委員 只今ノ御尋ハ私カラ一應
御答申上ゲマシテ、足りナイコトガアリマ
シタナラバ農林當局カラ御答ヲ致スコトニ
致シマス、今度ノ長丸太ニ付キマシテノ關
稅ハ、御承知ノヤウニ只今マデ無稅デア
ルカ、或ハ二圓五十錢課セルト云フコトニ
ナッテ居リマスノヲ、其無稅ノ範圍ヲ縮小
致シマシテ十「メートル」カラ十八「メー

ト「メートル」カラ十八「メートル」ニ
ナッテ居リマスノヲ、其無稅ノ範圍ヲ縮小
致シマシテ十「メートル」カラ十八「メー

ト「メートル」カラ十八「メートル」ニ
ナッテ居リマスノヲ、其無稅ノ範圍ヲ縮小
致シマシテ十「メートル」カラ十八「メー

ト「メートル」カラ十八「メートル」ニ
ナッテ居リマスノヲ、其無稅ノ範圍ヲ縮小
致シマシテ十「メートル」カラ十八「メー

ト「メートル」カラ十八「メートル」ニ
ナッテ居リマスノヲ、其無稅ノ範圍ヲ縮小
致シマシテ十「メートル」カラ十八「メー

ト「メートル」カラ十八「メートル」ニ
ナッテ居リマスノヲ、其無稅ノ範圍ヲ縮小
致シマシテ十「メートル」カラ十八「メー

ル」ヲ超エナイ、其間ノ物ヲ二圓、十八「メートル」以上ノ物ハ無稅ト云フコトニナリマシテ、結局無稅、其次ガ二圓、其次ガ二圓五十錢、斯ウ云フ風ニ丁度三階段ニナルノデアリマス、ダカラ只今手代木委員ノ御懸念ニナリマスヤウナ十八「メートル」以上ノ一番長イ物ガ、若シ亞米利加カラ輸入致サレマシテ、ソレヲ短ク切ッテ十「メートル」カラ十八「メートル」丁度二圓課カル程度ノ物ニ短縮シテヤルト云フコトニナリマス、是ハ矢張相當考ヘナケレバナラス、丁度只今ノ御尋ノヤウナ點ヲ根本ニ致シマシテ、色々研究ヲ遂ゲタノデアリマスガ、先日モ御説明申上ゲマシタヤウニ、外國カラ入ッテ參リマス物ノ約三五%ト云フモノハ十「メートル」乃至十八「メートル」アトノ六五%ト云フノハ十八「メートル」以上ノモノデスカラ、其數量カラ見マシテモ只今ノ御懸念ハ御尤デアリマスガ、調査致シマシタ所デハ長イ物ハ運賃ガ非常ニ高イノデ、隨テ値段モ高い結果、態々ソレヲ安イ値段ノ物ニ切りマシテ、販賣スルト云フヤウナコトハ餘リ無イデハナイカ、サウ云フ結論ヲ得タノデアリマス、左様御承知ヲ願ヒマス

○杉本委員 私ハ農林省ノ木島局長サンニ

御尋シテ見タイト思ヒマス、木材ノ關稅ニ對シマシテ技術的ノ方面又販賣需要ノ關係ト云フコトニ對シマシテ、大分質問ガアリマシタガ、左様ナ實際問題ニ付キマシテハ本員モ相當此營業ヲ以テ長ク立ッテ居リマスカラ能ク分ッテ居リマス、皆様ガ折角質問致シテ居ル所ニ私ガ重複スルヤウナコトヲ申上ゲル必要ハナイト存ジテ居リマスガ「ラワン」材ニ對スル關稅改正ヲスルト云フコトニ對シテハ、主トシテ北海道瀾葉樹ガ其關係ヲ有チ、又其引合ニ出サレテ居ル、斯ウ云フコトニナッテ居ルノデアリマス、ソレニ付キマシテハ中島君ノ如キ、此木材ハ御商賣柄デハアリマセヌヤウデスガ、前回ノ昨年ノ關稅委員會ニ於カレマシテ、關稅ノ一切ニ關スル熱心ナ質問ヲ致シマシテ、殊ニ木材ノ如キニアリマシテハ、詳シイ質問ヲ致シマシタ、委員會ニ於カレマシテハ「ラワン」ダケニ丸太ノ如キ無稅デ輸入サレテ居ッタモノニ關稅ヲ課ス、其他製品ニ對シテ關稅引上スル、斯様ナコトガ却テ省カレタ、之ヲ除外サレタト云フコトニ對シテハ、甚ダ不都合デアルト云フヤウナコトデ、本會議ニ於カレマシテモ、十分質疑ヲナサレマシテ、又委員會ニ於キマシテモ、滿場一致デ中島先生ノ御意見ニ同意致シマ

シテ、委員會ハ附帶希望決議ヲ致シテ、關稅一切ヲ滿場一致デ政府提案ニ贊成ヲ致シマシタ、今日ハ其「ラワン」ノ關稅改正ニ付キマシテ、洵ニ少イ、是バカリ課ケルノデハ課ケナイモ同ジ事ダ、ダカラ課ケナイ方ガ宜イデハナイカト云フヤウナ御意見ノ程ニハ聞キマセヌガ、サウ云フ風ニ聞エル、更ニ爲替關係等ニ言及シタト思ヒマスガ、爲替相場ナドハ猫ノ眼玉ノ變ル如クニ動イテ居ル、今之ヲ標準トシテヤッテ居ル中ニ、又上ツタリ下ツタリスル、主トシテ市價ノ均衡ヲ求メテ、サウシテ内地ノ生産品ヲ保護スルト云フヤウナ、此事務的ノ非常ナ熱心ナ質疑ガアリマスガ、私共之ヲ總括シテ考ヘマス時ニハ、南洋材ノ「ラワン」ニ對シテハ、内地ノ北海道ト言ハズ、又農林省所管ノ國有林ニモ多大ナ影響ヲ瀾葉樹ニ「ラワン」ガ齎スコトデアル、斯様ニ考ヘルノデアリマス、當然此「ラワン」ニ對スル關稅改正ヲ行ヒ、又「キヤンプラン」枕丸太ノ如キ製品輸入ニ對シテモ、「オレゴシ・パイン」ト朝鮮落葉松トノ比較ヲ致シマシテ、關稅ヲ賦課スルト云フコトガ當然ノ政策デアル、是ハ收入關係、財源關係カラ行キマシテモ、亦内地國有林、或ハ道廳森林、一策兩得ノ關稅改正デアル、斯様ニ

考ヘマシタ時ニ農林省木島山林局長ニ於カレマシテハ、屢々委員ノ質問ニ對シテ御答辯ガアリマスガ、唯北海道ノ瀾葉樹ト南洋ノ「ラワン」材ニ對シ、又「オレゴン・パイン」キヤンプラン」丸太ニ對シ、朝鮮材ノ市場關係ノ答辯ヲ致シテ居リマスヤウデスガ、モウ少シ率直ニ——是ハ農林省ニモ非常ナ關係ガアル、ソレハ何デアルカト云フト、私カラ強ヒテ申シマスレバ、農林省ハ今期ノ豫算ニ於カレマシテモ、山毛櫨ノ瀾葉樹ヲ利用シナクチャイカス、山毛櫨ハ澤山アル、非常ニ多クアル、無限ニアルト云ウテモ宜イ位ニハ國有林地帯ニアル、此樹木ヲ是マデ利用スルコトハ洵ニ乏シカッタ、偶々山毛櫨ヲ利用スレバ何ニ利用スルカト云フト、鐵道ノ防腐枕木ニスル爲ニ山代金ヲ無代ニシテ、サウシテ研伐シテ鐵道省ニ賣出スト云フ位デ、手間當リシカナイト云フ安イ値段デ拂下ラシテ居ッタ、斯ウ云フ物ヲモウ少シ利用スル方法ガナイカト云フコトヲ御考ヘニナラレテ、今期豫算ニ其製材事業ノ資金ト云フモノヲ求メテ居ル、是ハ洵ニ農林省トシテ適當ナコトデアッテ、之ヲ民間ニ立木ノ儘デ拂下ゲテモ、到底民間デハ最初カラ豫期ノ成功ヲ得ルヤウナ見込ヲ立テ得ラレナイ、一層農林省ハ自分ノ木

ヲ相當ナ犧牲ヲ拂ッテ利用ノ開發ヲスルコトガ必要デアルト云フコトヲ御考ヘニナリマシテ、サウシテ官營製材所ヲ作ッテ、山毛櫨ノ立木ヲ斫伐搬出致シマシテ、加工製品ト致シテ「ラワン」ノ需要、或ハ北海道ノ櫨材、其他ノ潤葉材ト同ジヤウナ用途ニ市場へ賣出ス、斯様ナコトヲ御始メニナッテ居ル、ユカ板ノ如キ、又腰破目板ノ如キ物ハ「ラワン」ノ用途ト同ジコトデアル、是等ハ第三者カラ見マシテモ洵ニ宜イコトデアル、態々外國カラ輸入サレタ所ノ「ラワン」材ヲ使用シナクテモ、斯ノ如クニ無限ニアル所ノ國有林地帶ノ山毛櫨材ヲ官營製材所ヲ作ッテ、サウシテ此利用開發ヲシ、又民間ニ其事業ヲ時ニ依テ移スコトモ、其途サヘ開ケレバ差支ナイ、兎ニモ角ニモ此放擲シテアル所ノ無限ノ山毛櫨材ノ即チ潤葉樹利用ト云フコトヲ思立ッテ今御始メニナッテ居ル、是ハ北海道材ト「ラワン」トノ關係デナク、所謂内地國有林、即チ只今申上ゲマシタ所ノ樹種ノ利用開發ニ多大ノ影響ヲ持ッテ居ルコトダト云フコトニ對シテハ、農林省山林局長ハ一言モ其御言葉ヲ私ハ聽クコトヲ得ナカッタノデアリマス、唯「ラワン」材ト北海道材トノミニ引合的ニ質疑應答ヲ致シテ居ル、私ハ此國有林ノ山毛櫨材ノ利

用開發ニ資セントスル所ノ事業ヲ御始メニナラナケレバ——ソレハ一方「ラワン」ノ輸入ニ對スル關稅改正ヲヤッテ、サウシテ北海道ニアル所ノ七億萬石ト云フ無限ノ潤葉樹ニ對シテノ開發ヲ圖ルコトハ必要デアリマス、又内地地農林當局ガ直營事業ヲヤルト云フコトハ、一ツノ「ラワン」材ノ脅威ヲ感じテ、關稅ヲ以テ幾ラカ北海道材ヲ助ケヨウト思フ時ニ、又内ニ於テ敵ガ起ッテ來タノデハナイカト云フ感じガ、知ラナイ方ハ直覺的ニ起ルカモ知レマセヌケレドモ、是ハ既ニ其御計畫ヲ御立テニナッテ、豫算ハ本議會デ通過致シマシタ、サウシテ其事業ニ先ヅ著手シツ、アルコトデアリマスカラ、是ハ今更止メテ吳レト言ウテモ、非常ナ長イ間ノ研究ニ依テナサレタコトデアリマス、私共其計畫ヲ御抱負ヲ拜聽致シマシテモ、洵ニ適切ナ事柄デアッテ、他ノ製材業ノ如クニ民間ガ非常ニ發達シテ居ルモノヲ敢テ官營ガソレヲ追隨シテヤルノデナクシテ、放擲サレテアッテ顧ミラヌ所ノ、民間デハ到底之ヲヤリ得ラレナイ所ノ事業ヲ農林省ガ御計畫ニナルト云フコトニ對シテハ、最モ宜シイコトデアアルト云フコトデ贊意ヲ表シテ居ルノデアリマス、此「ラワン」材ノ關稅改正ニ對シテ、北海道ハ非常ナ關

係ヲ有ッテ居リマスガ、主トシテ農林省ガ只今御計畫ニナッテ居ル所ノ山毛櫨材ノ開發ニ對シテモ大ナル關係ガアル、假令一立方「メートル」ガ現本二圓ニ致シマシテモ、即チ是ガユカ板一坪當リ十錢高クテモ、二十錢高クテモ、需要者ハ安イモノ、方ニ取掛ッテ行クト云フコトヲ恐レナケレバナラスト云フ所以カラ行キマシタナラバ、假令一立方「メートル」ガ二圓デアッテ、コンナモノハ課ケヌ方ガ宜イト云フ御意見ヨリモ、先ヅ以テドレダケデモ課ケテ、サウシテ此目的ヲ達成シ、内地即チ民間ノ潤葉樹ノ保護助長ヲ致スト云フ所以ガ、此關稅ヲ改正スルト云フ根本ノ問題デアリハシマイカト思ヒマス、ソレニ關聯シテ農林當局ニ只今私ガ申上ゲタ山毛櫨材利用開發、又「ラワン」トノ關係ニ對シテ農林省ハドウ云フ風ニ御考ヘニナッテ居ラレルノデアリマスカ、御答辯ヲ率直ニ願ヒタイノデアリマスコトヲ通リ、内地ニ於キマシテモ從來餘リ利用サレテ居ラナカッタ所ノ潤葉樹材ノ利用ニ付テハ、其必要ヲ痛感シマシテ、明年度カラ只今話サレタヤウナ山毛櫨材ノ利用計畫ヲ始メマシテ、是ガ利用ヲ圖ルコトニ進ンデ居ルノデアリマスガ、マダ

此山毛櫨材ノ腐レニ對スル豫防方法、ソレカラ其後ニ於ケル割レ或ハ至ミニ對シテ乾燥ノ方法、斯ウ云フ點ニ於テ相當試驗ヲ進メテ居リマスガ、マダ十分デナイノデ、是ガ相當出材ヲ見ルノハ大分先ノコトニナルト思ヒマス、將來ニナリマシテ今申シマスヤウナ防腐ノ方法、或ハ乾燥ノ方法ガ完成シマスレバ、國有林ニ於キマシテハ針葉樹ヨリ寧ロ潤葉樹ノ方ガ蓄積ニ於テ多イノデアリマスカラ、相當ノ出材ガアルヤウニナリマスシ、又サウ云フヤウニナルコトヲ希望シテ居リマス、何分今日ニ於キマシテハ南洋材ト競爭シテ居リマスノハ北海道ノ潤葉樹デアリマス、之ニ相當スルモノガ内地カラ出テ居リマスケレドモ、僅ニ四十萬石程度ニ止ッテ居リマスノデ、今日ニ於テハ南洋材ト競爭スルノハ主トシテ北海道ノ潤葉樹材デアアル、斯様ニ考ヘテ今マデ説明致シタ次第デアリマス

○永田委員 北海道長官ニ御尋シタイト思ヒマスガ、先程中島委員カラ御話ガアリマシタ通り、北海道材ト「ラワン」材トノ關係ダケニ於テハ、北海道ガ今相對的ニ論ジラレテ居ル譯デアリマスガ、其他一般的ニ北海道ノ材木ガ前議會邊リマデヤカマシク論ゼラレマシタ樺太材ト同ジヤウナ立場ニ於

テ、内地ノ市場ニ影響ヲ有シテ居ル譯デアリ
マスガ、樺太ノ問題ガ大體一段落シマシタ
以上ハ、北海道ノ状態モ一應伺ッテ置キタイ
ト思フノデアリマス、北海道ノ林政ノコト
ニ付テノ御意見ヲ一應伺ッテ置キタイと思
フ、是ハ一體關稅委員會ノ問題デハナイカ
モ知レマセヌガ、妙ナ成行デ此委員會ハ能
ク近年木材ノコトヲ論ゼラレテ居ル、餘リ
ヲカシイコトモナイト思ヒマスカラ、一通
リ承ッテ置キタイと思ヒマス、順次成ベク早
ク片付ケタイト思ヒマスカラ申上ゲマス、
北海道デ昭和七年度ニ國有林ノ立木ノ拂下
——製材シタモノデハアリマセヌ——其數

量ガドレ位ニナッテ居リマスカ、又拂下ハ二
口アルヤウニ聞イテ居リマス、製紙會社ガ
一方、一方ハ木材業者、斯ウ云フ風ニナッテ
居ルヤウデスガドウデスカ、ソレヲ先ツ伺
ヒタイ、七年度ノ總數量ト内譯、木材業者
ニハドノ位トカ、色々アリマセウガ、其邊
ヲ私能ク存ジマセヌカラ……

○佐上政府委員 北海道ノ木材ハ毎年約五
百萬石ヲ處分スルコトニナッテ居リマシテ、
其中デ立木ノ儘處分スルノガ四百萬石、官
行斫伐ヲ致シマスノガ百萬石デアリマス、
昭和七年度ニ於キマシテモ同様四百萬石バ
カリ立木トシテ處分致シマシタ、サウシテ

製紙會社ニ百六十萬石ヲ拂ヒマシタ、他ノ
二百四十萬石ヲ木材業者ニ拂下ゲマシタ
○永田委員 只今五百萬石或ハ四百萬石ト
仰シヤイマスノハ、闊葉樹ヲ除イタ數字デ
アリマスカ

○佐上政府委員 全部デゴザイマス

○永田委員 闊葉樹ト針葉樹トノ數量ノ區
別ヲ、是ハ後デモ宜シウゴザイマスガ……

○佐上政府委員 申上ゲマセウ、針葉樹ハ
二百七十四萬六千石、闊葉樹ハ五十三萬二
千石ト云フヤウナ關係ニナリマス

○永田委員 來年度ハ矢張四五百萬石ノ豫
定デアリマスカ

○佐上政府委員 來年度モ矢張本年ト同様
四百萬石ノ豫定デス

○永田委員 只今ノ御話デ、拂下ガ四百萬
石、官行斫伐ガ百萬石、斯ウ云フコトデア
リマシタガ、ソレモ矢張年々ノ御計畫デセ
ウカラ、大體來年度モ同ジガラウト思ヒマ
スカ、サウデアリマスカ

○佐上政府委員 左様デゴザイマス

○永田委員 大分近頃北海道ノ木材ガ聲價
ヲ維持シテ來タト云フコトヲ聞イテ居リマ
ス、亞米利加材ニ對シテ相當優位ナ地位ヲ
示シツ、アル、即チ針葉樹ノ「ラーチ」ホワ
イトフア「ハムロック」ナド、云フモノ、代

用材トシテ、北海道ノ松丸太ノ大キイモノ
ガ相當ニ賣レルト云ッテ居リマスガ、今後モ
引續キ——勿論爲替ナドノ不利ガ來レバ別
デアリマスガ、相當期待シ得ル状態ニ北海道
ハアルノデスカ、如何デアリマスカ

○佐上政府委員 只今御話ノ爲替關係等カ
ラ致シマシテ、内地ノ市場ニ於ケル北海道
ノ長物ノ需要ガ非常ニ増シテ參リマシタ、
此趨勢ヲ現在ノ市場ガ繼續スル限り矢張繼
續スルモノト認メテ居リマス

○永田委員 從來餘リ聲價ヲ維持シナイ時
分ニハ、北海道ノ材木ハドウモ節ガ多イト
カ、曲ルトカ色々言ハレタヤウデスカ、是等
ノ取締等ハ——近頃良クナッタノハドウ云フ
原因デ良クナッテ參リマシタノデスカ、政府
ガ特ニ何カ規格ヲ設ケタトカ、或ハ木材業
者ニ勸誘シタトカ、拂下ガルモノヲ氣ヲ付
ケタトカ何トカ云フ、ドンナ風ナ結果カラ
段々改良サレマシタカ、其一般的ノ北海道
應ノ御計畫ヲ伺ッテ置キタイト思フ

○佐上政府委員 實ハ北海道ノ材木デモ相
當良イモノガアルノデアリマスガ、今迄ハ
主トシテ道内消費ト云フコトヲ主ニシテ參
リマシタ、何故内地市場ニ是等ノ品物ガ、
殊ニ針葉樹ノ如キ良イモノガ入ラナカッタ
カト云フコトヲ考ヘテ見マスト云フト、矢

張米國材ニ押サレマシタ結果、惡イ安イモ
ノガ内地ニ移出サレテ、良イモノハ値段ノ
關係デ道内デ消費セラル、斯ウ云フヤウ
ナ状態デアッタ、ソレガ爲替關係ノ結果ト
シテ、大部長尺ノ良イ木材ガ内地デ需要サ
レルコトニナリマシタ機會ニ、北海道ノ木
材ノ聲價ヲ維持スル必要ガアリマスノデ、
官行斫伐ヲ致シマスモノニ付キマシテハ、
木材ノ等級ヲ道廳デ定メマシテ、成ベク良
品ヲ内地市場ニ出サヤウニシテ參リタイト
云フヤウナ方針ヲ定メテ、本年度ヨリソレ
ヲ實行シテ居リマスガ爲ニ、近頃參リマス
モノハ米材ト競争シ得ル、サウシテ規格ニ
合ッタモノガ追々内地ニ入ッテ來ルト云フヤ
ウナ事情デ、今御質問ノヤウナ有様ニナッ
テ居ルノデアリマス

○永田委員 規格ヲ御定メニナッタト云フ
コトハ大變結構デスカ、先程モ其點デ伺ッ
タノデスカ、官行斫伐ヲシテ居ルト申シマ
スカ、民間ノ方モ矢張規格統一デ取締ルコ
トニナッテ居ルノデアリマスガ、ドンナモ
ノデアリマセウカ

○佐上政府委員 規格統一ノ如キモノヲ成
ベク官廳カラソレヲ始メテ、後ニ民間ニモ
サウ云フ風ナ方法ヲヤリタイト云フコト
デ、目下木材業者ヲシテ、其ノ方ニ向ハシム

ルコトニ準備ヲ致シテ居ルヤウナ次第デア
リマス、將來斯ウ云フヤウナ規格ノ問題ヲ
民間ノ方ニ及ボシテ行キタイト云フ考ヲ
持ッテ居リマスガマダ其方ニ著手シテ居リ
マセヌ

○永田委員

大體北海道ノ闊葉樹、針葉樹
ニ對スル最近ノ北海道廳ノ施設ヲ伺ヒマシ
テ、大變參考ニナリマシタ、ソレハ此北海
材ガ兎角彼此レ言ハレテ居ッテ、投資ヲシ
タ、樺太モ嘗テ投資ヲシタ爲ニ、大分ヤカ
マシイ問題ヲ起シ、近頃ソレガ改メラレタ
ト云フコトヲ聞イテ私御伺シタヤウナ次第
デアリマスガ、又製紙會社ニ百六十萬石本
年モ拂下ゲ、來年モ拂下ニナルトハ仰シヤ
イマセヌガ、恐ラク會社モアルコトデスカ
ラ拂下ゲルコトハ當然デアリマセウガ、是
ハ樺太ノ問題デ、製紙會社ガ拂下ヲ受ケタモ
ノヲ製紙原料ニ使ハズニ、ドン／＼内地ニ
持ッテ來テ捌イテシマッタト云フコトデ、ソ
レモ一ツノ困ッタ現象ダッタノデアリマスガ、
北海道デモ從來ハサウ云フコトガアルト云
フコトヲ聞イテ居ルノデス、規格統一ヲ爲
サッテ行ケバ、假令製紙會社ニ賣ッテモ其品
物ノ統一ガ出來テ行キマセウシ、數量ハ一
方商賣ヲシテ居ル連中ガ製紙會社ニ對シテ
安ク拂下ゲタモノ、中カラ大キイモノヲ引

拔イテ、ソレヲ市場ニ比較的安ク賣レバ濫
賣ニナリ、一カタマリデ百六十萬石ト云フ
ヤウナモノヲ持ッテ居レバ、其間ニ商賣ハ自
山ニナリ、片ッ方五萬石カ十萬石拂下ヲ受
ケタ者ハ壓迫サレルヤウナコトニナルノ
デ、其中カラ優良材ヲ拔キ得ルト思フノデ
ス、樺太ガ其通りデ、北海道ノモ恐ラクサ
ウダラウト思フ、ソレ等ノ點ハ斯ウシテ折
角規格ヲ統一シテ行カウ、北海材ノ聲價ヲ
高メテ行カウト云フニ當ッテハ、何等カノ
施設ガソコニ要リハセヌカト思ヒマス、大
體大變結構ナ計畫ト思ヒマスケレドモ、サ
ウ云フ點ニ付キマシテモ何カ御考ヲ持ッテ
居リマスカドウデスカ、製紙會社デ使ヘル
程度ノモノヲ賣ッテヤル、サウシテ内地市
場ニ丸太ニシテ、長丸太トカ、相當ノ市價
ヲ保チ相當優良ナ品質ト思ハレルモノハ、
是ハ製紙會社ニハ賣ラナイ、殘シテ伐ラセ
ル、サウ云フコトガ出來ルカ出來ヌカ分ラ
ヌガ、何カサウ云フヤウナ方法デ折角ノ案
ヲ後カラ打毀ハスコトノナイヤウナ、何カ
御方針デモ立ッテ居リマセウカ、御方針ガ立
タズトモ、サウ云フ御考ヲ持ッテ居ルノデ
セウカ

○佐上政府委員

實ハ只今御質問ノ如ク、
今マデ年々御承知ノ通り北海道ノ森林收入

ガ拓殖ノ財源ニナッテ居リマス關係上、年々
一定ノ收入ヲ擧ゲルト云フヤウナ建前カラ
致シマシテ、製紙原料ニナラナイヤウナモ
ノヲ會社ニ多少押付ケタヤウナ風ガアルノ
デアリマス、只今御話ノ如ク木材ノ價格ガ
非常ニ出マシテ、殊ニ官行斫伐ニ付テハ規
格ヲ定メテ、内地ニ北海道木材ノ聲價ヲ發
揚シヨウト云フ時代デアリマスカラシテ、
此次ノ年度ヨリハ只今永田君ノ仰セノ如ク
中丸太以下ノモノダケヲ處分シマシテ、後
ハ賣ラナイコトニ致シテ居リマス

○永田委員

長官ノ御答辯ヲ伺ヒマシテ、
私之ヲ伺ッタコトヲ大變好イ事ヲ伺ッタと思ッ
テ居リマス、製紙會社ノ方ニ從來ハ押付ケ
タヤウナコトモアッタガ、今後ハ中丸太以下
ニスル積リダト云フコトデ、大變進ンダ考
デ、斯ウ云フコトナラ樺太デ嘗テヤッタ心
配ガ是カラハ防ギ得ルト思ヒマス、樺太ガ
片付イタ後ニ北海道ガサウナッテ行ケバ大
變内地ノ木材業者ノ喜ブ所ダラウト思ヒマ
ス、折角一ツ北海道廳ノ御計畫ヲ御實施ア
ランコトヲ私ハ切望スル次第デアリマス、
モウ一ツ、樺太デモ餘リ永年ノ間ヤカマシ
カッタ結果、政府ニ於テモ其方針ヲ改メラ
レマシテ、長年期ニ互ル契約拂下ト云フヤ
ウナコトハ控ヘルヤウニ、殆ド契約ヲ實施

シナイト云フヤウナ狀態デ、特賣制度ヲ採
ルト云フヤウナ風ニ進ンデ居ルヤウデアリ
マスガ、北海道ニ於キマシテモ尙ホ一步ヲ
進メテ、此長年期ノ年期拂下ト云フヤウナ
コトヲ今直チニデハアリマスマイガ、只今
御話ノヤウナ案ガ段々立テバ廢メテシマ
フ、サウシテ之ヲ直接内地市場ニ當業者ニ
モ賣ラセ、北海道廳モ自ラ内地ノ市場ヲ開
拓スル、斯ウ云フ風ナ御方針ヲ執ラレル所
マデ御進ミニナル御考ハアリマセヌデセウ
カドウデセウカ、此點ヲ御尋致シマス

○佐上政府委員

北海道ノ木材拂下ニ付テ
ノ年期契約ガ今マデ段々出來テ居ルコトハ
御承知ノ通りデアリマス、併ナガラ矢張良
材ヲ市場ニ出スト云フ此計畫ヲ進メマスル
上ニ於テ此林政ヲ相當改革スル必要ガアル
ト考ヘマスノデ、今ノ年期契約ノアルモノ
ハ致方ガアリマセヌガ、新ニ年期契約ヲ結
ブヤウナコトハ、是ハシナイ方針デ行キタ
イ、斯ウ云フ積リデ居リマス

○永田委員 大變結構ナコトデ喜ブ次第デ
スガ、更ニ一歩ヲ進メテ——尤モ北海道デ
材木ヲ扱ッテ居ル方ニハ多少不便利カ知レ
マセヌガ、北海道ノ材木ノ市價ヲ上ゲル、
生産者ノ手許ニ餘計金ガ這入ルト云フヤウ
ニスルニハ、折角開イタ内地ノ市場ニ直賣

スルト云フコトノ方が便利デアル、中間ニ於テ製紙會社ガ——尤モ製紙會社ノコトハ只今ノヤウナ方針デ行ケバ中間デ彼此レト云フコトハナクナリマスガ、北海道デ拂下ゲル、サウシテソレガ内地デ賣出サレル、規格ハ統一サレルガ、大變中間ヲ經ル、其爲ニ生産者ノ手ニ入ル金ガ少イ、ソレデア

カラ、何カ其處ニ旨イ御考ハアリマセヌカ
○佐上政府委員 内地ノ方面デハ既ニサウ云フヤウナ直賣ト云フヤウナコトガ行ハレテ居リマス、北海道デモ只今御話ノ如ク、木材業者等ガ壓迫ヲ蒙ラナイ程度ニ於テ北海道ノ良材ヲ内地ニ直賣シテ、其販路竝ニ聲價ヲ高メルト云フコトハ、是非非常ニ適切ナ事ダト考ヘマシテ、ソレ等ノ點ニ付テモ十分調査ヲ致シマシタ上デ適當ナ案ヲ立テタイ、斯ウ考ヘテ居リマス

格ノ統一ガ出來テ、生産者ノ手許ニ入ル金ガ殖エル、斯ウ云フコトニナレバ徒ニ今日論ゼラレテ居ルヤウナ關稅ニ依頼セズトモ、立派ニ生産ガ出來テ生産者ノ懷ガ暖カニナル、斯ウ云フコトニ自然ナルデヤナイカ、無論北海道ニ於ケル永年ノ當業者ヲ壓迫致スト云フ意味デハアリマセメガ、物ノ理窟ト云フモノガサウナルと思フノデアリマス、道廳内ニ於ケルサウ云フ木材拔業者ノミノ立場ヲ考ヘズニ、生産者ノ立場ヲ考ヘレバ斯ウ云フ事モ考ヘ得ルト思フ、ソレ等ニ付キマシテ、是ハ甚ダ御答シ惡イ、北海道長官ノ職ニ在ル長官ニ御伺スルコトハ隨分御無理カトモ思ヒマスガ、其邊ニ餘リ衝動ヲ與ヘズニ、サウシテ税金ヲ納メテ居ル生産者、道廳民ノ懷ヲ肥ス話デアリマス

○永田委員 私北海道長官ガ御出席ニナリマシテ、北海道ノ林政一般ヲ伺ヒマシテ大變參考ニナリマシタ、有難ウゴザイマシタ、北海道ノ問題ハ此程度デ打切りマスガ、尙ホ今日丁度北島サンガ御見エニナッテ居リマスカラ、一寸御尋シタイと思ヒマス……
○金光委員長 一寸速記ヲ止メテ下サイ
〔速記中止〕

カ、道廳内ニ於ケルサウ云フ木材拔業者ノミノ立場ヲ考ヘズニ、生産者ノ立場ヲ考ヘレバ斯ウ云フ事モ考ヘ得ルト思フ、ソレ等ニ付キマシテ、是ハ甚ダ御答シ惡イ、北海道長官ノ職ニ在ル長官ニ御伺スルコトハ隨分御無理カトモ思ヒマスガ、其邊ニ餘リ衝動ヲ與ヘズニ、サウシテ税金ヲ納メテ居ル生産者、道廳民ノ懷ヲ肥ス話デアリマス

○永田委員 速記ヲ始メテ下サイ——此頃ノ流行言葉デ日滿經濟統制、マダ私ハ是ガ國策トシテハ決ッテ居ラスト思フノデアリマシテ、先日北島君トモ言葉ノ爭ヒニナッタノデアリマスガ、併シハ朝鮮トハ餘程密接ナ關係ニナッテ居リマス、内地ノ方デ此事ヲ色々論ゼラレテ居ルコトヲ私共常ニ耳ニ致シテ居リマスガ、其間ニ朝鮮對滿洲ト云フコトニ對シテノ議論ガ洵ニ少ナイ、是モ中島君ノ仰シヤッタ言葉ノ中ニモアリマシタ通り、朝鮮ノ特殊ノ關係デ、關稅等モ殘ッテ居ッタ、最近マデ木材ガ殘ッテ居ッタト云フ御話デアリマシタガ、其通りデアリマスガ、其外ニ粟ガ殘ッテ居ッタ、唯粟ガ殘ッテ居ッタト云フト簡單ナコトノヤウデアリマスケレドモ、粟ガ殘ッテ居ッタト云フコトガ、此朝鮮ノ民度ヲ明カニ示シテ居ル點デ、朝鮮人ノ民度ガ非常ニ低イ、米ハ作ッテモ贅澤ナ人ニ買ハシテ、サウシテ貧乏人ハ粟ヲ食ッテ生活スル、此粟ノ税金ガ餘計課カテハ朝鮮ノ民度ニ適合シナイ、斯ウ云フコトデ特例ヲ設ケタ、ソレ程ニ朝鮮ノ民度ハ又低イ譯デアリマス、今後必然起ルベキ此滿洲トノ關稅問題、如何ナル形式ニ依テ此問題ヲ解決スルカハ、今後ノ問題デアリマスガ、朝鮮總督府トシテハ少クトモ此朝鮮人ノ低イ民度ニ適合シタ安イ品物ガ滿洲カラ入ルト云フコトニ對シテハ、何等カノ案ヲ有ッテ居ラナケレバナラスト私ハ思フ、案下コロデハナイ、強イ主張ヲ有タナケレバナラスト私共ハ思フ「ローマテリアル」中ノ「ローマテリアル」、最モ安イ、サウシテ朝鮮人ノ最モ要求スル物ハ粟其他ノ穀類デアラウト思フ、是ガ滿洲カラ安イ物ガ入ッテ來ルト云フ

コトハ日本ノ農業ヲ脅ス、斯ウ云フコトガ日本ノ一ツノ言論デアルガ、朝鮮トシテハ其安イ物ガ入ラナケレバナライナト云フ建前ニ、或ル程度マデナルグラウト私共ハ思ウテ居ル、デスカラ斯ウ云フ委員會デ、長ク御尋ネスルコトハ御迷惑ト思ヒマスカラ、極ク限局シテ私ハ此穀類ニ對シテノミ申上ゲテ、御意見ヲ伺フ譯デアリマスガ、政務總監ハ今日ドンナ御考ヲ有ッテ居ラレマスカ、御伺ヲ致シマス

○今井田政府委員 滿洲ト朝鮮トノ關係ニ付テ、特ニ朝鮮側トシテ考慮シタイコトハ、關稅等ニ於キマシテハ多々アルノデアリマス、併ナガラ申スマデモナク關稅ニ付キマシテハ、今日朝鮮モ内地モ一律ニスルコトニナッテ居リマス、朝鮮側ダケノ見地カラヤルト云フコトハ、中々容易ダナイノデアリマス、是等ノコトニ付キマシテハ、主務省トモ特ニ協議申デアリマスカラ、對滿洲ト内地、或ハ朝鮮トノ關稅政策ニ付キマシテハ、主務省デ十分考慮申デアルト云フコトハ、此委員會デモ中島政府委員カラ御答ガアッタト思ヒマスガ、サウ云フ譯デ、今日各品目ニ付キマシテ、具體的ニ申上ゲル時デハナイト思ヒマス、唯穀類ニ付キマシテハ、永田君モ御承知ノ通り、主トシテ粟ノ方ハ

大量ニ供給ヲ仰イデ居タノデアリマス、此

粟ハ朝鮮ニ於ケル謂ハ下層階級ノ常食ニ

ナツテ居リマス、出來ルダケ安イ粟ヲ供給ス

ルト云フコトハ、朝鮮ニ於ケル下層階級ノ

生活ヲ保護スルト云フ見地カラ必要デアル

ノデアリマス、左様ナ譯デ、從來取扱ッテ居

ル譯デアリマスガ、併シ是等ノ粟其他ノ雜

穀ニ付キマシテモ、今日御承知ノヤカマシ

イ朝鮮、内地、臺灣ヲ通ジテノ米穀政策、

或ハ米價政策ト云フヤウナ見地カラモ、相

當考慮スル必要ガアルノデアリマス、斯様

ナ大キナ朝鮮、内地、臺灣ヲ通ジテノ最モ

大ナル生産物デアル米ノ政策、或ハ食糧政

策ト云フヤウナ見地カラ關聯シテモ考ヘナ

ケレバナラス點モアルノデアリマス、又朝

鮮自體ノ只今申シマシタ下層階級ノ常食ニ

ナツテ居ル此粟ト云フモノ、價格ニ付テモ

考ヘナケレバナラス、此間ノ調和ヲ如何ニ

シテ取扱ッテ行クカト云フコトガ、餘程重大

ナ問題ダト考ヘマス、其點ニ付キマシテハ、

出來ルダケ朝鮮ニ於ケル粟ノ需要者ノ利益

ヲ保護シタイ積リデアリマシテ、又一般ノ

米穀政策、米價政策トモ調和ヲ取ルト云フ

コトダ始終今日攻究ヲ致シテ居ルノデアリ

マス、此點ニ付キマシテハ、或ハ近ク具體的

ニ皆様ニ御諮リスルコトニナルカモ知レマ

セヌ、斯様ニ考ヘテ居リマス

○永田委員 私ハ滿洲問題ノヤカマシイ此

際ニ、アノ連絡ノ深イ朝鮮ノコトガ兎角議

論ノ中ニ入ラナイ、閑却サレテ居ル形ニア

ルノヲ非常ニ心配ヲシマスル結果、斯ウ云

フ席ヲ藉リテ申上ゲルノデアリマス、別ニ

具體的ニドウト云フ譯デハアリマセヌ、ド

ウカ總督府當局ニ於カレマシテモ、又拓務

ノ當局ニ於カレマシテモ、日滿經濟ノコト

ヲ——日滿ト言ヘバ、朝鮮モ入ッテ居ルデ

ヤナイカト言ヘバ、ソレハ其通りデアリマ

スガ、事實民衆生活ハ違ッテ居ルノデスカ

ラ、朝鮮ト滿洲ト云フコトニ付テハ、世間

ニモモウ少シ注目サレルヤウニ、一ツ輿論

ノ御指導ヲ願ヒタイ、其點ヲ勉メテ戴キタ

イト云フコトヲ特ニ御願シテ置キタイト

思フノデアリマス、ソレカラ政務總監ニモ

ウ一言申上ゲテ置キタイノデアリマスガ、

關稅政策ノミニ依テ、日本ノ一般關稅ニ包

含サレテ居ル朝鮮ガ、特殊ナ地位ヲ占メル

ト云フコトノ困難ナコトハ、私モ想像シナ

イデハアリマセヌ、併シ是ハ朝鮮ガ、ア、

云フ風ニ陸地ガ續イテ居ル關係上、非常ニ

便宜ガアル、特ニ關稅ハ一緒ニナツテ居リ

マシテモ、大連カラ船ニ積ミ、或ハ雄基、

清津カラ船ニ積ンデ日本ニ入ルモノト、安

東縣ヲ通ジテ鐵道一本デ入ッテ來ル、或ハ

吉會線ガ開通シテ、之ニ依テ來ルト云フコ

トニナルト、ソコニ朝鮮總督府トシテハ、

此下層階級ノ農民ノ食糧ヲ輸入スルニ便利

ナ點ガアル、關稅ハ同ジヤウニ扱ハレマシ

テモ、鐵道ガ統一サレテ、特殊ナ割引制度

デモ——連絡荷物トシテノ割引制度デモ行

ハレルコトニナレバ、稅金位ノ騷ギデハナ

イコトニナル、兎角滿鐵ハ非常ナ高率ノ運

賃ヲ取ッテ居ルノデアリマス、サウシテ遠

距離遞減ト云フコトモ滿鐵ニハ洵ニ少ナ

イ、是等ガ滿洲カラ朝鮮ニ物ヲ輸入スル上

ニ於テ非常ニ不便ガアル、デアリマスカラ

シテ、先年ノヤウニ、朝鮮ノ鐵道ノ經營ガ

滿洲ト一緒ニナツテ居ルト洵ニ便利デアリ

マスガ、今日ハ別々ニナツテ居リマス、其

間ノ連絡ヲモウ少シ密接ニ願ッテ、一層此

運賃ノ低減モ圖ッテ行キマシタナラバ、關

稅ガ同一ニ取扱ハレマシテモ、其處ニ大キ

ナ價格ノ違ヒガ來マシテ、朝鮮ノ民度ニ丁

度適合シタモノニナリハシナイカト、氣ノ

付キマシタ點ヲ申上ゲマシテ私ノ質問ヲ終

リタイト思ヒマス

○野中委員 永田君ガ十分朝鮮對滿洲ノ問

題ニ付キマシテ質疑ヲ爲サレマシタカラ、

私ハソレニ附加ヘル所ノモノハ洵ニ僅少デ

アリマス、過日大藏大臣ニ私ガ質問シマシ

タ其際ニ、大藏大臣ガ答ヘマシタ通り、滿

洲ニ關スル問題ハ、特別ナル考慮ヲスルト

云フヤウナコトデゴサイマシタ、又今日政

府委員ガ御説明ニナリマシタコトモ、同様

ナ趣旨ニ基イテ居リマスカラ、私共ハ此點

ニ付キマシテハ、是レ以上ノ質問ハ致シマ

セヌ、思フニ滿洲ニ於キマシテ、只今拓務

省アタリガ盛シニ移民ヲ獎勵スル、又朝鮮

總督府カラ移民ヲ獎勵スルト云フヤウナ工

合デ、日本人バカリデハナクテ、朝鮮民族モ

相當ニカラ滿洲ノ奧地ノ方面ニ入ッテ行キ

ハシナイカ、御承知ノ通り四月一日ニ吉會

線ノ起工式ガアリ、五月一日カラ一般旅客

貨物ノ輸送ガ始マルト云フヤウナ狀態デア

リ、更ニ今年末マデニハソレガ哈爾濱ヘ延

長セラレルト云フ情勢デアリマスカラ、吾

吾日本ノ民族バカリデナクテ、朝鮮人モ滿洲

内地ニ澤山ノ人ガ入ルト云フコトハ、今カラ

豫想スルニ難クナイコトデアリマス、サウ

云フ連中ガ滿洲ノ奧地ニモ行ッテ活躍スル時

ニ、若シ外國並ノ取扱ヲ受ケルヤウニナリ

マスナラバ、幾分民族自身、移住民自身ト

致シマシテモ、之ニ對シテ僻ミヲ持ツヤウ

ニナリマシテ、所謂滿洲開拓ト云フコトニ

對シテ努力ヲ拂フコトモ少クナリハシナ

イカ、更ニ極端ニ悲觀スルナラバ、滿洲ノ移民政策ト云フモノモ失敗シハセヌカト云フコトモ私共ハ憂慮致シテ居ル次第デアリマス、滿洲ニ關スル限リニ於キマシテハ、色々ナ關係モアリマセウ、軍事上ノ關係モアルシ、經濟上ノ關係モアルシ、色々ノ關係ガアリマスカラ、今直チニ斯ウ云フヤウナ成案ヲ得ロト云フコトハ出來ナイトハ存ジマスガ、少クトモ政府ノ當局ハ、大藏省、拓務省、朝鮮總督府ト云フヤウナ、滿洲ニ關スル所ノ關係ヲ持ッテ居リマス諸官省ニ於キマシテハ、十分調査ノ上ニ、今云ツタ大藏大臣ノ趣旨ニ副ウテ、日本人ノ滿洲開發ト云フ意味合ノ事柄ニ付キマシテ、十分進展スルコトノ出來ルヤウナ工合ノ方策ヲ採ッテ戴キタイト思ヒマス、ソレデアリマスカラ、サウ云フ氣持ヲ以テ滿洲ニ臨マネバナラスト思ヒマス、隨テ關稅政策ニ付テモ、同様ナ氣持ヲ以テ進ンデ戴キタイト思ヒマス、朝鮮總督府ノ方々ニ御聽キヲスル機會ガ少イカラ、此機會ヲ利用シテ御聽キシタイト考ヘマスカ、前ニ申シマシタ通り、吉會線ガ五月一日ニ開通セラレ、又十二月末ニハ哈爾濱マデ延長セラレト云フ情勢デアル今日ニ於キマシテ、將來吉會線ガ非常ナ重要ナ使命ヲ有ツト共ニ、日本トノ通

商狀態ニ於テ、羅津ト云フモノモ私共ニ言ハスルナラバ相當重要ナル位置ヲ占メテ來ル所デハアルマイカ、今日雄基ニ於キマスル所ノ貨物ノ輸出量ト云フモノハ、先ヅ二十萬噸前後ノヤウデアリマス、又清津ニ於キマスル輸出量ハ、七十萬噸前後ノヤウデアリマス、併シ思フニ吉會線ガ貫通致シマシタ曉ニ於キマシテハ、私共ノ見ル所ガ間違ナイナラバ、五百萬噸以上ノ貨物が、羅津或ハ清津、雄基方面ニ集散スルノデハナカラウカト想像シマス、故ニ此港灣ノ設備ト云フモノハ、洵ニ重大ナル意義ヲ日本ノ對滿政策上ニ於テ占メテ居ルデアラウト考ヘテ居リマスガ、今日ニ於キマシテハ、羅津ノ築港モ、亦雄基、清津方面ノ築港モ、私ニ言ハセマスレバ不十分ノ點ガ多イノデハナカラウカト思ヒマスガ、此點ニ付キマシテ、朝鮮總督府ニ於キマシテハ、ドウ云フヤウナ御計畫ヲ以テ此三港ニ臨マレカ、此點ハ朝鮮總督府ニ御質問スル機會ガアリマセヌカラ、此機會ヲ以テ極メテ簡單ニ序ナガラ御同致シテ置キマス

○今井田政府委員 羅津ガ吉敦線ノ南廻リ線ニナルト云フコトハ御話ノ通りデアリマスガ、羅津ノ築港ガ完成シマスレバ、私共ハ羅津、雄基、清津、此三港ガ北鮮ニ於ケル重要ナル貿易港トナルト考ヘテ居ルノデアリマス、サウシテ清津ガ來年度ニ、現在施行中ノ計畫ガ完成致シマスレバ、約八十五萬噸内外ノ吞吐ガ出來ル譯デアリマス、又雄基ニ付キマシテハ、只今御話ノ通り數年前ニ一部ノ築港ノ計畫ガ完成致シタノデアリマス、二十四萬噸ノ吞吐ガ出來ルノデアリマス、過去ノ實績カラ考ヘマシテ、現在マデニ清津ガ四十萬噸内外、雄基ガ十萬噸内外ノ貨物ヲ吞吐スルコトガ出來ルノデアリマス、斯様ナ點カラ考ヘレバ、今日尙ホ六十萬噸内外ノ輸出能力ガ雄基、清津ノ兩港ニ於キマシテアルノデアリマスカラ、本年吉會線ガ開通致シマシテ、多少貨物ノ増收ガアリマシテモ、多分兩港ニ於テ荷扱ガ出來ルト考ヘテ居ルノデアリマス、而モ三年後ニ於キマシテ、羅津港ガ完成致シマスレバ、數百萬噸ノ貨物が參リマシテモ、十分輸送ガ出來ルト、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス、併ナガラ本年開通致シマシテ、明後年頃下ノ位貨物が増加致スト云フ具體的數字ニ付キマシテハ今日研究中デアリマシテ、精確ナル數字ハ得ラレナイノデアリマス、今日マデノ數字ニ依リマシテ、或ハ羅津港ノ完成マデニ、他ノ港灣ノ擴張ガ出來ナイト云フコトニナレバ、ソレニ應ジテ、今

後ノ經過ニ付テ考ヘマシテ、適當ナル方法ヲ講ジタイト考ヘテ居リマス

○野中委員 今井田政務總監ノ御意見デ、大體ハ分リマシタ、大體考ヘマシテ、今日雄基、清津ニ於ケル貨物ノ輸出能力ト云フモノガ、マダ幾分ノ向上ノ餘地ガアルト云フヤウナ御話デゴザイマスガ、先ヅ兩方合セマシテ三十萬噸前後ノ輸出能力ガアルヤウデアリマス、併シ此吉會線ガ開通致シマスト、今マデ大連方面ヲ經由シ、或ハ京奉線ヲ通ジマシテ來マス所ノ貨物が、運賃或ハ時日ノ關係上カラ見テ、此北滿ノ地ニ集ッテ來ルト云フコトハ、私共今カラ豫想スルニ難クナイコトデハナイカト思ヒマス、ソレデアリマスカラ集ッタ時ニ於キマシテ豫定シマスコトハ、或ル意味ニ於キマシテハ、既ニ遲キニ失スルコトナキニシモアラズデハナイカト考ヘマス、ソレデアリマスカラ、今マデノ輸出量ハ、或ハ五十萬噸前後デアリマセウガ、開通ノ曉ニハ相當ナル貨物が此邊ニ集散シテ來ルト云フコトハ疑ナイコト、考ヘマス、ソレデアリマスカラ總督府ニ於キマシテハ、前以テ豫メ準備爲サレテ、羅津ノ築港ガ完成スルマデノ間、所謂暫定的ノ計畫ヲ立テラレト云フコトモ必要デハナイカト考ヘマス、之ニ對スル幾ラカ御

計畫ガアリマスカドウカ、若シアリマシレバ、其御計畫ノ一部デモ承ルコトガ出來マシレバ結構デアリマス

○今井田政府委員 清津ノ築港ハ、只今御話申上ゲマシタ通り三年後ニ於テ完成スルコトニナッテ居リマス、雄基ハ昭和六年度デアッタト思ヒマスガ、完成致シテ居リマス、

隨テ只今申上ゲマシタヤウナ荷役能力、又現在ノ貨物ニ付キマシテ、急ニ此兩港ノ改築ヲ圖ルト云フ計畫ハ持ッテ居ナカッタノデアリマス、然ルニ昨年吉會線ノ開通ト云フコトガ決定致シマシテ、サウシテ羅津ガ終端港トシテ修築セラレルト云フコトニ決定致シマシタ、今日羅津ガ出來ルト云フコトニ確定致シマシタコトニ付キマシテハ、將來ノ見極メヲ十分ニ付ケナイデ、他ノ第二期ト申シマスルカ、今後ノ擴張計畫ヲ立テマスルコトハ、或ハ羅津ノ改築計畫等モアリマスルノデ、尙ホ十分ナル資料ヲ得マシテ、サウシテ羅津完成ヲ待ツ暇ナクシテ多量ノ貨物ガ出ル、之ヲ如何ニスベキヤト云フ點ガ明ニナリマシレバ、相當ノ處置ヲ致シタイ、ソレニ付キマシテ清津港ハ港灣ノ狀況カラ見マシテ遽ニ之ヲ擴張スルコトハ餘程困難ダト思ヒマス、雄基ノ方面デアリマスレバ、經費ニ於キマシテモ比較的少ク、サ

ウシテ時日ニ於キマシテモサウ長イ時日ヲ要セズシテ、相當ノ貨物ヲ増シ得ルコトガ出來ルヤウニ考ヘテ居リマス、ソレ等ノ點ヲ考慮致シマシテ、必要ニ應ジテ何分ノ計畫ヲヤリタイト、斯様ニ考ヘテ居リマス

○金光委員長 野中君、關係ノナイコトハ成ベク簡單ニ願ヒマス

○野中委員 雄基方面ニ於キマスル設備ハ、短日月ヲ以テ出來得ルト云フヤウナ話ヲ聽キマシテ、將來ノ滿洲問題對策ト致シマシテ、朝鮮總督府ト致シマシテモ相當ニ御考慮ニナッテ居ルト云フ事實ヲ伺ヒマシテ洵ニ満足致シマス、甚ダ御迷惑ナル御質問ヲ致シマシテ相濟ミマセヌデゴザイマシタガ、外ニ朝鮮總督府ニ御意見ヲ承ルコトモ出來マセヌカラ、此機會ヲ利用シテ承ッタノデアリマス、委員諸君ニハ洵ニ申譯ナイ次第デアリマスガ、此程度ヲ以テ質問ヲ打切ッテ置キマス

○金光委員長 一寸拓務省ノ政府委員ニ御尋致シマスガ、先程北島政府委員ノ御説明ニ依リマス、朝鮮長丸太ノ内地移入ハ漸次増加シツ、アルヤウニ思フノデアリマシガ、併シ御示シノ數字ハ、大シタ數字デモナイヤウデアリマスガ、若シ近イ中ニ朝鮮ニ於ケル森林開拓ニ使用サルベキ鐵道ノ延

長デアルトカ、又林道ノ開發等ニ依テ、此改正ト相俟ツテ、米國材ニ代リ得ル長丸太ノ利用可能量ガ、相當ノ數ニ上リ得ル見込ガアルト云フヤウナコトデアリマスレバ承ッテ置キタイ、尙ホ其程度モ、ドンナモノカ伺ッテ置キタイト思ヒマス

○今井田政府委員 只今北鮮開拓事業ト致シマシテ、彼處ニ殆ド全國ニ類ノナイ所ノ大森林ガアリマス、是等ノ材木ガ立枯レニナッテ居ルノヲ利用シタイ、サウシテ資源ノ開發ヲ致シ一部ニ於キマシテハ、朝鮮總督府ノ財政上ニ寄與シタイト云フノデ計畫ヲ立テ、居リマス、ソレニ付キマシテ既ニ鐵道ハ著々延長シテ居ル、又道路ノ改築モ致シテ居ル、ソレ等ノ計畫ニ對スル御尋ノ内容ニ付キマシテハ、數字ヲ以テ御答致スコトニ致シマス、左様ニ致シマシテ、今後年々約百萬石内外ノ朝鮮材ヲ其處カラ伐出シタイ、斯様ナ計畫ヲ立ッテ居リマス、具體的ノコトハ書面デ御答致シマス

○金光委員長 サウ致シマスルトモウ一ツ伺ヒマスガ、其鐵道ノ延長デアルトカ、林道ノ開發等ガ、森林開拓事業ノ進行ニ伴ッテ増加スル御見込ハ、本年度ニ此關稅ガ通過スル場合ト、次年度ニ於テ之ヲ通過セシムルヤウナ場合トアル、サウスルト來年度デ

ハ此計畫ノ上カラ非常ニ遅イト云フヤウナコトガアリマシラバ、其邊モ參考ノ爲ニ伺ッテ置キタイト思ヒマス

○今井田政府委員 他ノ説明員カラ説明致サセマス

○伊藤朝鮮總督府技師 北鮮開拓ニ關シマスル鐵道其他ノ運搬ノ設備ノ實施ニ付キマシテハ、昭和七年度ヨリ實施致シテ居ルノデアリマスルガ、既ニ拓殖鐵道ノ敷設ハ、只今實施中デアリマシテ、モウ森林地帯ノ中ニ入ッテ居ルノデアリマス——本年三月即チ年度終ニハ、既ニ其地帯ノ一部ニ入ルヤウニナッテ居リマス、併ナガラ木材ノ出テ參リマスノハ、早クテ本年ノ秋ニナルカト思ヒマスガ、私共ノ見マスル所ニ依リマスルト、差當リノ需要ニ對シテハ、朝鮮ノ東海岸ニアリマスル所ノ國有林並ニ民有林ノ方カラシテ、相當ニ出テ來マスノト、ソレカラ本年ハ、會寧地方ニ、年々伐採シテ居リマス所ノ官行事業ノ木材ガ川ヲ流シマシテ出テ參リマス、ソレ等ヲ合計致シマス長物、約十「メートル」以上ノ物ガ十六萬石位ハ出ル見込デアリマス、隨テ差當リ早イノハ此三月時分カラ東海岸ノ方ニ出廻リガアルノデハナイカ、斯ウ考ヘテ居ル次第デアリマス、需要ニ對シマシテモ、極力私

共ト致シマシテモ圓滑ヲ缺カナイヤウニ致ス積リデアリマス

○金光委員長 汽車ノ開通ニ依テハ……

○伊藤朝鮮總督府技師 汽車ノ開通ニ依テ出マスルノハ、早クテ今年ノ秋デナケレバ出テ來ナイト思ヒマス

○手代木委員 只今ノ問題ニ關聯シテ御尋

ネ致シマスガ、其北鮮開拓ノ結果、長丸太ヲ相當内地ニ送ルコトガ出來ル見込デアルト云フコトハ先般來伺ッテ居ルノデアリマスガ、之ニ對シテハ、殊ニ森田委員ハ非常ニ疑問ヲ持ッテ居ルヤウデアリマス、此處ニオ出デノ方ハ皆御聞及ビノ通りデアリマシテ、左様ナ物ハ絕對出テ來ルコトハナイト云フコトマデ斷言セラレテ居ルノデアリマス、而シテ鐵道ニ依テ、此長丸太ヲ出スナド、云フコトハ、全ク不可能ダト、斯様ニモ述ベラレテ居ルノデアリマス、私ハ其點ニ付テノ識見ヲ持チマセヌガ、果シテ此森林鐵道、左様ナモノデ此米松長丸太ニ代ルダケノ長イ物ヲ自由ニ出シ得ルモノデアルカ、川ヲ流シテ出スト云フヤウナコトニ付テハ、相當出來ルト思ヒマスルガ、鐵道ノ方、殊ニ森林鐵道ト云フヤウナコトニナルト、儘カ極ク簡易ナル鐵道ダラウト考ヘルノデアリマスルガ、左様ナ鐵道デ米國ヨリ

ノ輸入ヲ防遏スルダケノ多數ノ數量ヲ、果シテ運搬シ得ルカドウカ、現ニサウ云フコトヲ實際ニ實施ニナッテ居ルコトデアレバ、其狀況ナドモ併セテ伺ヒマシテ、先日來ノ森田君ノ絕對的ノ反對的意見ニ對シマシテ、大ニ參考ニ致シタイト考ヘルノデアリマス

○伊藤朝鮮總督府技師 先日森田委員カラ

御質問ノゴザイマシタ中ニ、森林鐵道ニ依テ長丸太ヲ絕對ニ出シ得ナイト云フ御話ガゴザイマシタノデスガ、私共ノ考ヘテ居リマスルノハ、左様ニ考ヘテ居リマセヌノデス、勿論森林鐵道ト申シマシテモ、地形ノ如何ニ依テ、非常ニ「カーヴ」ノ多イ所ト、ソレカラ又勾配ノ關係モ違フ、是ハ勿論アルデゴザイマセウ、併ナガラ朝鮮總督府ノ計畫シテ居リマスル、先ヅ最初ノ第一期ノ北鮮開拓ノ事業ト致シマシテ選定致シテ居リマスル所ノ八十萬町歩ノ地域ト云フモノハ、大體ニ於テ白頭山ヲ中心ニ致シマシタ山岳地帶デアリマスガ、大體ニ於テハ割合ニ緩傾斜ノ所ガ多イノデアリマス、又隧道其他ノ點モ隨テ少ク、直接「カーヴ」ノ關係ハサマデ困難デナイト云フヤウニ調査シテ居リマス、左様ナ次第デゴザイマシテ、將來ニ於テハ、從來ヤッテ來マシタ所ノ流筏、即

チ川ヲ流シテ來ル所ノ方法ハ、寧ロ長材ヲ出シマスルノニ非常ニ不便デアリマシテ圓滑ニ行カナイ、之ニ私共ハ非常ニ苦ンデ居リタノデアリマシテ、鐵道ニ依テ出スコトハ、總督府ト致シマシテハ十分ノ確信ガアル積リデ居リマス、左様ニ御承知ヲ願ヒタイト思ヒマス

○手代木委員 現在運搬シテ居ルヤウナコトガアルノデスカ

○伊藤朝鮮總督府技師 只今申上ゲマシタヤウニ、拓殖鐵道ト云フノガゴザイマシテ、ソレガ今森林地帶ノ途中マデ入ッテ居ルノデアリマス、ソレハ早クテ今年ノ秋時分ニハ品物ヲ出シ得ルト思ヒマス、併シマダ其附近ノ物ハ伐ッタコトハゴザイマセヌ、併ナガラ伐ル段ニナリマスレバ、鐵道ノ沿線附近デゴザイマシテ、サマデ期間モ掛ラヌデ出シ得ルト思ヒマス、而シテ大體本年ノ需要ニ應ジ得ルト私共考ヘテ居リマスルノハ、先刻申上ゲマシタヤウニ、東海岸ニ於ケル直接鐵道ニ掛ラナイデ出テ來ル豫定ノ木ガゴザイマス、ソレガアリマスルノト、ソレカラ從來會寧ノ方ニ出シテ居リマシタ川ヲ流シテ持ッテ來マシタ所ノ木材、ソレ等ヲ加ヘマシテ十五六萬石ハ十分ニアルト斯様ニ考ヘテ居リマス

○金光委員長 外ニ質問ハアリマセヌカ——質問ハ是ニテ終了致シマシタ、次會ハ討論ニ入り採決ニ移ル積リデゴザイマスカラ、其御準備ヲ願ヒマス、次會ハ公報ヲ以テ御通知ヲ致シマス、本日ハ是ニテ散會致シマス

午後四時四十分散會

昭和八年三月十三日印刷

昭和八年三月十四日發行

衆議院事務局

印刷者 民友社印刷所